

学校選択制度のアンケート調査結果について

平成 25 年 12 月

墨田区教育委員会

目 次

1	学校選択制度の経緯	1
2	学校選択制度の利用実績と現状	2
3	アンケートの実施結果	5
	(1) 小学校 1 年生保護者	5
	(2) 小学校 2 年生保護者	9
	(3) 中学校 1 年生保護者	12
	(4) 中学校 2 年生保護者	16
	(5) 地域関係者(町会・自治会長・青少年委員・青少年育成委員長)	19
4	学校選択制度のアンケート結果から伺える全体的な傾向	24
5	学校選択制度の課題と方向性	25
6	まとめ	25
—参考—	関係通知等	26
	〔資料〕	
	「平成 25 年度 入学に向けた児童・生徒の選択状況について」〔別紙 1〕	27
	「平成 25 年度 新小学校 1 年生希望選択学区別内訳(学区外選択者)」〔別紙 2〕	28
	「平成 25 年度 新中学校 1 年生希望選択学区別内訳(学区外選択者)」〔別紙 3〕	29
	「学校選択制度希望選択抽選結果(暦年)」〔別紙 4〕	30
	「平成 25 年度 学校選択制度に関するアンケート集計結果」	
	小学校 1 年生〔別紙 5〕	32
	小学校 2 年生〔別紙 6〕	35
	中学校 1 年生〔別紙 7〕	37
	中学校 2 年生〔別紙 8〕	40
	地域関係者〔別紙 9〕	42

1 学校選択制度の経緯

児童・生徒が就学する学校は、学校教育法施行令の規定により、教育委員会があらかじめ学校ごとに通学区域を設定し、これに基づいて就学すべき学校を指定している。このような通学区域制度に対し、平成9年に行政改革による規制緩和の推進のため旧文部省から、教育上の影響等に留意しつつ、通学区域制度の弾力的運用に努めるよう通知（文初小第78号平成9年1月27日）が出された。

それを受けて、墨田区では平成11年度から「墨田区小中学校通学区域研究会」、平成12年度から「学区域の弾力化懇談会」を開催し、学校選択制についての検討が始まった。現行の学区域制度は基本的に維持した上で、保護者からの申し出により学区域外の学校を選択できる「学校選択制の実施」を平成13年に墨田区教育委員会で決定した。

この決定で、児童・生徒や保護者は、それぞれの個性や事情にあった学校を選ぶことによって、学力の向上や安定した学校生活を送ることができることとなった。また、選ばれる学校自体も、特色ある学校づくりに努めることで、魅力ある教育活動を目指すことにつながった。

このように学校選択制度は、平成14年度の学校教育法施行規則の一部改正により、児童・生徒や保護者が、通学区域の学校を基本にしつつも、墨田区内の学校を選択できる仕組みとして、中学校は平成14年度入学予定者から、小学校は平成15年度入学予定者から実施している。

学校選択制度を導入してから5年目の平成20年度は、保護者、地域関係者の意向を確かめるため、アンケート調査を実施した。その調査結果に基づき、本制度が通学区域の学校への通学を基本に運用していることを踏まえ、約75%の小学生が「通学区域の学校」に通っており、残る25%が選択制を利用していること、また、中学生は58%が「通学区域の学校」に通い、42%の方が選択制を利用していることが分かった。特に中学生は、部活動や学校の特色などを見て選ぶという考え方が定着していることがうかがえた。このように、小・中学校とも本制度を有効に活用している実態と、保護者の制度の継続意向が確認されたため、引き続き運用することとなったものである。

平成25年度は、前回のアンケート調査から5年を経ており、この間、区立学校適正配置等実施計画や35人学級の学級編制基準改定などの学校を取り巻く状況の変化に伴い、今後の選択制度のあり方を検討する必要があるため、平成20年度と同様の規模で、墨田区小・中学校保護者5,748人、地域関係者（町会・自治会長、青少年委員、青少年育成委員長）207人を対象に、アンケートを実施し意見をとりまとめた。

アンケートの配布及び回収状況（平成25年度）6月実施

(1)	小・中学校	配布枚数(枚)	回収枚数(枚)	回収率(%)	H2O回収率(%)
	小学1年生保護者	1,627	1,472	90.5	93.4
	小学2年生保護者	1,520	1,295	85.2	85.4
	中学1年生保護者	1,278	988	77.3	77.0
	中学2年生保護者	1,323	1,005	76.0	76.6
	小中学校全体	5,748	4,760	82.8	83.6

(2)

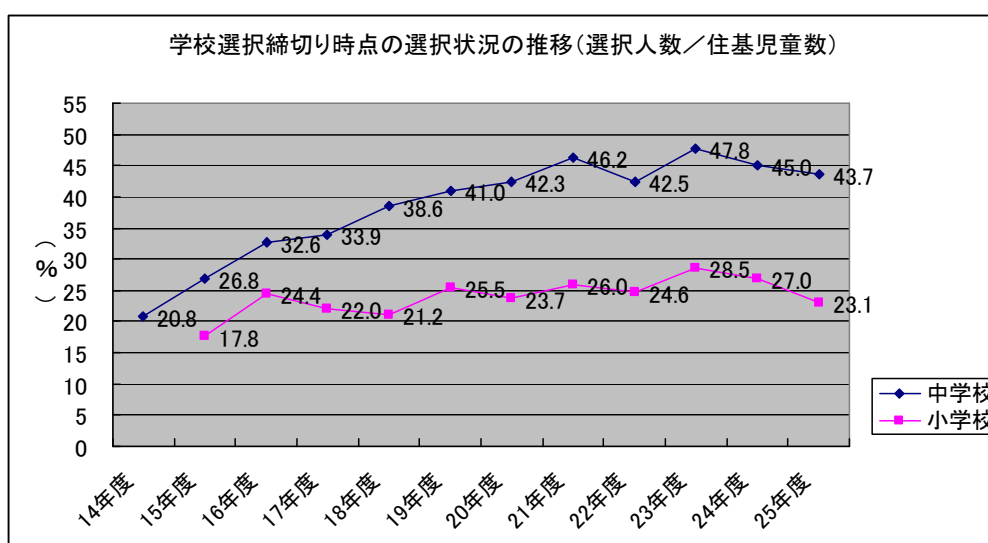
地域	配布枚数(枚)	回収枚数(枚)	回収率(%)	H20回収率(%)
町会・自治会長	167	131	78.4	74.7
青少年委員	28	20	71.4	46.9
青少年育成委員長	12	9	75.0	75.0
無記名		3		
地域関係者全体	207	163	78.7	70.5

2 学校選択制度の利用実績と現状

(1) 児童・生徒の選択状況について (資料 P.27)

制度導入時から現在までの学校選択制度利用希望状況(毎年度11月締め切り時を基準)を経年で見たと、小学校では、平成15年度当初は17.8%であったが、20年度は23.7%、25年度は23.1%と23年度の28.5%をピークに20%台の数値で推移している。

一方、中学校では、平成14年度当初の20.8%から年々利用希望者が増加し、20年度において42.3%、25年度は43.7%と23年度の47.8%をピークに40%台で推移している。



(2) 新小学校1年生入学児童の選択状況(資料 P.28)

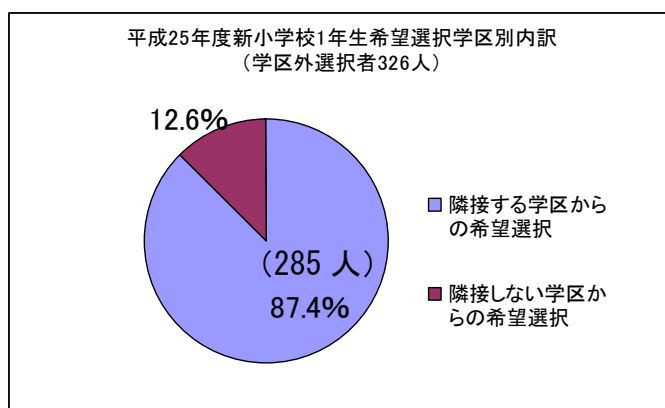
平成25年4月に小学校に入学した児童1,625人で、そのうち「学区の学校」の児童は1,250人、「学区外の学校」を選択した児童は326人である。

「学区外の学校」を選択した326人のうち、「隣接する学区の学校」を選択した人は285人であり、87.4%が「隣接する学区の学校」を選択している。

この結果、「学区の学校」の1,250人と「隣接する学区の学校」の285人を合わせた人数は1,535人であり、94.5%の多くの方が自宅から近い学校を選んでいる。

平成25年度入学児童の選択状況(平成25年4月7日現在)

		小学校			
		人数	割合 (%)		
墨田区立	全入学数	1,625	100.0		
	学区の学校を選択した数	1,250	76.9		
	学区外の学校を選択した数	326	20.1	100.0	
	内	隣接する学校を選択した数	285	17.6	87.4
	訳	隣接する学校以外を選択した数	41	2.5	12.6
	指定校変更等の数	49	3.0		
学区・隣接する学区の学校を選択した数		1,535	94.5		



(3) 新中学校1年生入学生徒の選択状況(資料P.29)

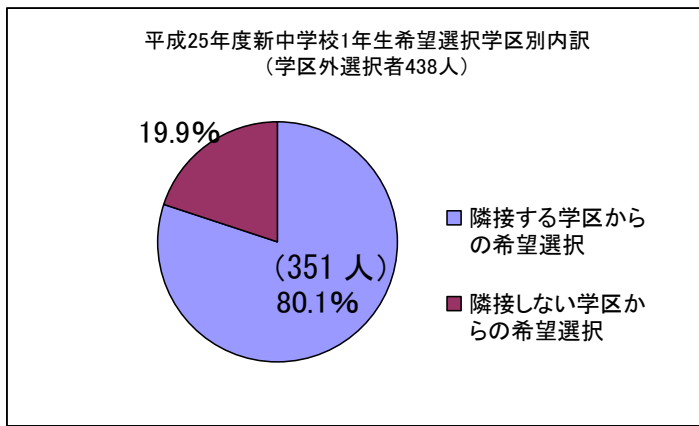
平成25年4月に小学校に入学した生徒1,277人で、そのうち「学区の学校」の生徒は820人、「学区外の学校」を選択した生徒は438人である。

「学区外の学校」を選択した438人のうち、「隣接する学区の学校」を選択した人は351人であり、80.1%が「隣接する学区の学校」を選択している。

この結果「学区の学校」の820人と「隣接する学区の学校」の351人を合わせた人数は1,171人であり、91.7%の多くの方が自宅から近い学校を選んでいる。

平成25年度入学生徒の選択状況(平成25年4月7日現在)

		中学校			
		人数	割合 (%)		
墨田区立	全入学数	1,277	100.0		
	学区の学校を選択した数	820	64.2		
	学区外の学校を選択した数	438	34.3	100.0	
	内	隣接する学校を選択した数	351	27.5	80.1
	訳	隣接する学校以外を選択した数	87	6.8	19.9
	指定校変更等の数	19	1.5		
学区・隣接する学区の学校を選択した数		1,171	91.7		



(4) 学校選択制度希望選択抽選結果(資料 P.30)

例年、定員を超過した応募があった場合には、公開抽選を行っている。抽選になった学校数は次のとおりである。(過去6年間の集計)

平成 25 年度の抽選状況については、都立・私立学校への就学のため等、辞退した方により、繰上げ当選があった。

また住民基本台帳による通学区域内の入学予定者数が増え、学校適正配置による学校規模を考慮し、学校選択停止となった学校がある。

	20 年度	21 年度	22 年度
小学校	9 校	4 校	5 校
中学校	2 校	3 校	2 校

	23 年度	24 年度	25 年度
小学校	6 校	8 校	12 校
中学校	3 校	2 校	4 校

※ 小学校数は、20 年度 27 校、21 年度から 22 年度まで 26 校、23 年度から現在まで 25 校。

※ 中学校数は、11 年度から 24 年度まで 12 校、25 年度現在 11 校。

※ 学校選択停止校数は、平成 20 年で小学校 1 校、平成 22 年度で小学校 3 校、平成 23 年度で小学校 1 校、平成 25 年度で小学校 1 校であった。

3 アンケートの実施結果

平成 25 年度のアンケート調査票は、前回平成 20 年度に実施したアンケート調査票を基に、保護者の意向をより詳しく調査するため、新たな設問の追加及び、一部設問を変更して実施した。そのうえで、対象者ごとにアンケートを実施した。

○ 小学校・中学校 1 年生の保護者

入学後 2 ヶ月を経過した小学校・中学校 1 年生の保護者に対して、学校選択制度の活用の有無や学校を選んだ理由、制度に対する意見等を伺うアンケートを実施した。

○ 小学校・中学校 2 年生の保護者

入学してから 1 年を経過し、学校生活に慣れた小学校・中学校 2 年生の保護者に対して、学校選択制度に対する意向調査（アンケート調査）を実施した。

○ 地域関係者（町会長・自治会長、青少年委員、青少年育成委員長）

地域住民から見た学校選択制度について、その影響やあり方などの意見を伺うアンケートを実施した。

(1) 小学校 1 年生保護者（資料 P.32）

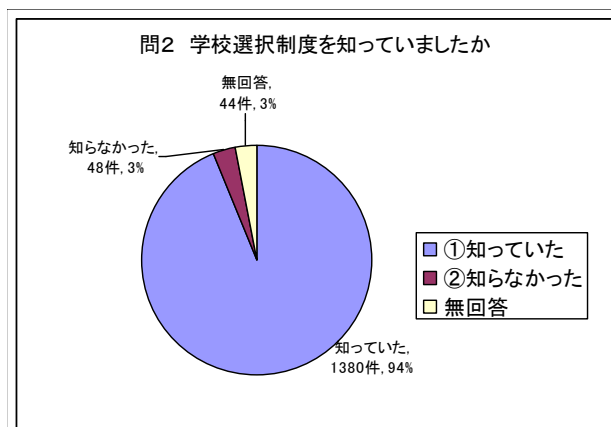
実施：期間平成 25 年 6 月 7 日～28 日

対象者：1, 627 人（20 年度対象者数 1, 600 人）

回答者：1, 472 人（20 年度回答者数 1, 495 人）

回収率：90.5%（20 年度回収率 93.4%）

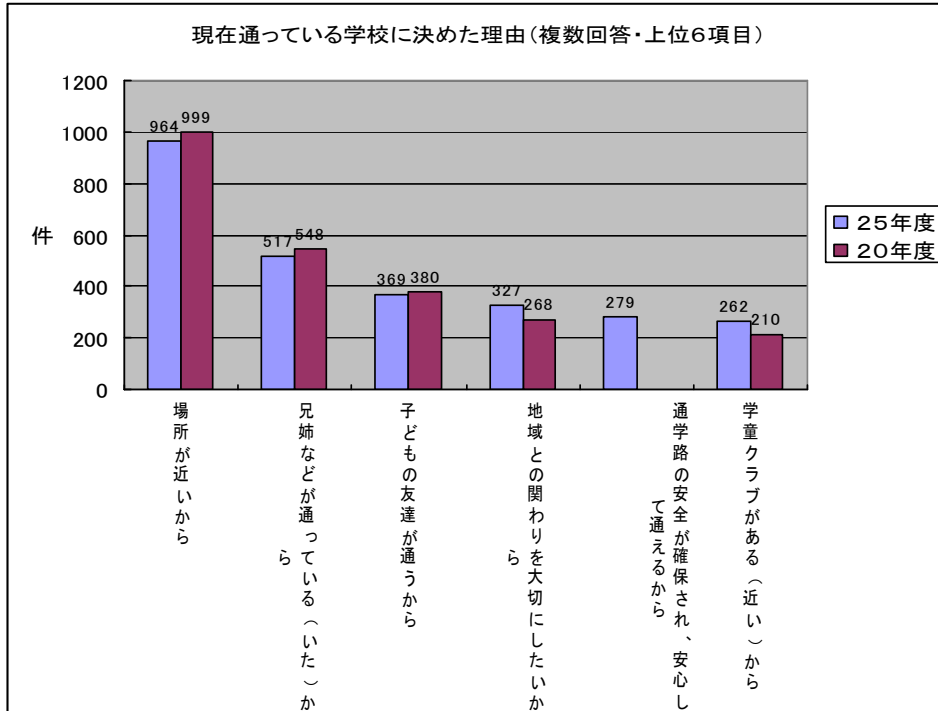
- ① 回答者全員に、20 年度の調査になかった「学校選択制度を知っていたか」について聞いたところ、94%の保護者から「知っていた」との回答を得た。



② 回答者全員に、現在通っている学校に決めた理由について聞いたところ、「場所が近いから」を選んだ人が964件で1位となった。

上位4位までは前回20年度調査時と同項目の結果となったが、25年度では「通学路の安全が確保され、安心して通えるから」が5位となり、20年度で5位であった「学童クラブがある（近い）から」は、6位になった。

※「通学路の安全が確保され、安心して通えるから」の項目は、25年度調査で追加した。



③ 学校を選ぶ際に役立った情報では、「友人・知人からの話を聞いて」を選んだ人が613件で1位となり、20年度調査時も同様に1位であった。25年度では、「学校公開によって授業や行事を参観して」が2位、「兄弟が通っている(いた)ので、その話や様子から」が3位となり、20年度では2位と3位が逆転している。このことから、伝聞によって学校の情報を得ると同時に、実際に学校に行き、確かめる傾向が強くなったことがわかる。

※ 「複数校の学校公開等に参加し比較して」「学校のホームページを見て」「上記の選択肢以外の情報」の項目は、25年度調査で追加した。

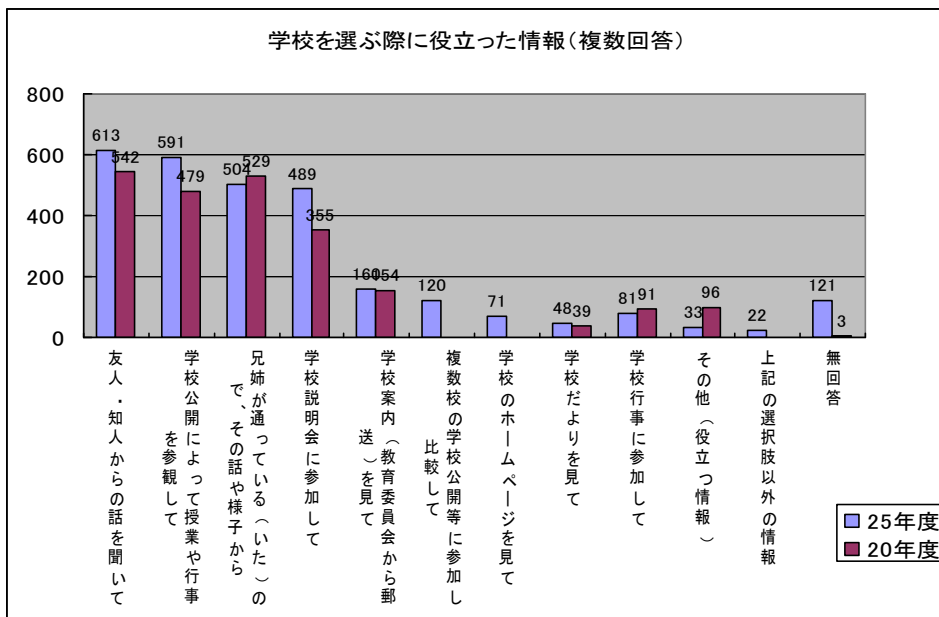
※ 「複数校の学校公開等に参加し比較して」の項目で、学校公開に参加した学校数の集計結果。

- 1校……………6人
- 2校……………37人
- 3校……………23人
- 4校以上…19人

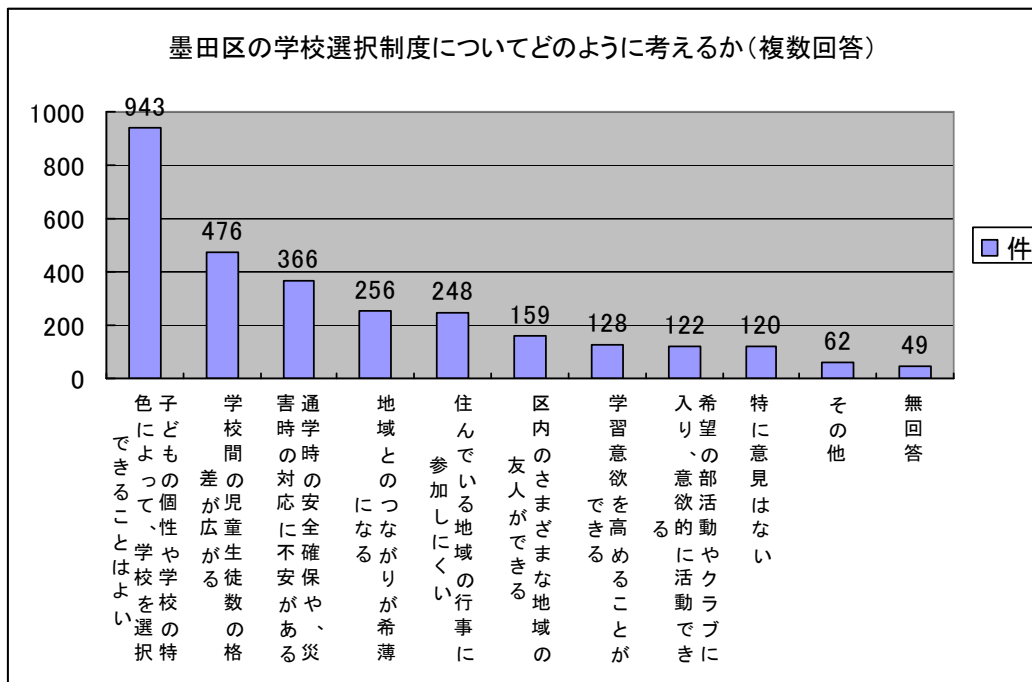
※ 「役立つ情報」「選択肢以外の情報」

- ・ インターネットで保護者の意見や現状など

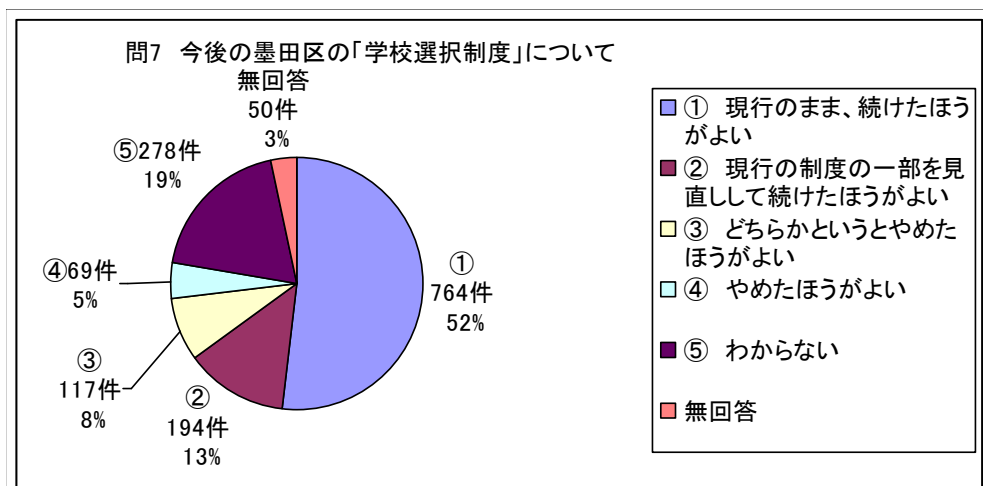
- ・ 家が近いので情報が入りやすい
- ・ 教育関係のネットサイトの口コミ
- ・ 幼稚園と学校の交流から



④ 平成 25 年度で初めて設定した、「墨田区の学校選択制度についてどのように考えるか」について聞いてみたところ、「子どもの個性や学校の特徴によって学校を選択できることはよい」との回答が943件で1位となった。



- ⑤ ④と同様、今回初めての調査として「今後の墨田区の学校選択制度について」の意向を聞いたところ、「現行のまま続けたほうがよい」が52%であり、「現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい」の13%を合わせると全体の65%の方が継続を希望している。また、「どちらかというをやめたほうがよい」の8%と「やめたほうがよい」の5%を合わせると、13%の方がやめたほうがよいという結果となった。



『現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 「徒歩のみで通える範囲」「原則、近場のみの選択」「小学校のうちは、近くて地域につながりのある学校のみ選択」など、通学する距離の範囲を限定して選択できる見直しの意見。同様意見14件
- ・ 「保護者の勤務先に近い」「通学区域内の学校が遠い」「兄弟が通っている」「児童の個性の部分の考慮」等、正当な理由がある人のみ選択ができる見直しの意見 同様意見16人
- ・ 人気のある学校とない学校の格差をなるべくなくしてほしい。同様意見8人
- ・ 中学は本人の意思が尊重できるが、小学校は本人が決めるのは難しい。同様意見3人

『どちらかというをやめたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 地域とのつながりが希薄になるため、小学校のうちは近くて地域につながりのある学校に行かせるべき。同様意見13人
- ・ 児童数の格差が出すぎている。同様意見22人
- ・ 希望どおりに通える児童と、抽選により通えない児童との不公平感がある。
- ・ 小学校については、あまり意味がないと思う。

⑥ 「学校選択制度」に関するご意見 ～自由意見欄～

(肯定的な意見)

- ・ 学校側の努力をうながすという意味では、学校選択制度は必要であると考えます。
- ・ 個人にあった学校を選べる事は、必要だと思う。
- ・ 子どもが通える範囲なら、自由に選択できる方が良いと思う。
- ・ 選択肢は多いほうが良いので、続けていく方がよい。
- ・ 親が子どものことを思い、学校を選ぶ事ができることは良いと思う。
- ・ 学区内に関わらず、選択できるのは良いと思う。その選択の際に、自分の学区の学校はどうかと改めて考えることにもつながる。学校側も向上するように、お互いに高めていければ良いと思う。

- ・ 様々な事情がある方もいるので、良い制度だと思う。
- ・ 学校を子どもと家族みんなで相談して選べるのが良かった。

(否定的な意見)

- ・ 学校選択制度を利用しても、希望の学校に入学できるとは限らない。
- ・ 人気偏るのでなるべく学区内の学校に通うべき。
- ・ 選択により学力など差が生じやすいと思う。人数が少なくなるといきたくなくなるという話も聞く。
- ・ 義務教育に特色や個性はあまり必要ない。それよりも、どの学校に行っても不安が無く学べるようにしてほしい。
- ・ 学校選択制度があるために悩んでしまう。学校によって児童数が違いすぎる。児童数が多い方が「良い学校」というイメージがいやである。通学区域別の方が平等であると思う。
- ・ 学区をまたいで通学することは、低学年には負担なのではないか。小さいうちは、地域とのつながりを深めたほうが良い。
- ・ 近くの学校に通うほうが安全であり、子どもの健康にも負担が少なくてよいと思う。特に小学校は、どの学校でも大差がないと思うから。
- ・ どうしても理由がある場合以外は、学区の学校へ進むのが望ましいと思う。学校選択制度は、ますます学校間の格差を広げると考える。
- ・ 学校選択制度は、無駄な混乱・不公平を生じる。

(2) 小学校2年生保護者(資料 P.35)

実施：期間平成25年6月7日～28日

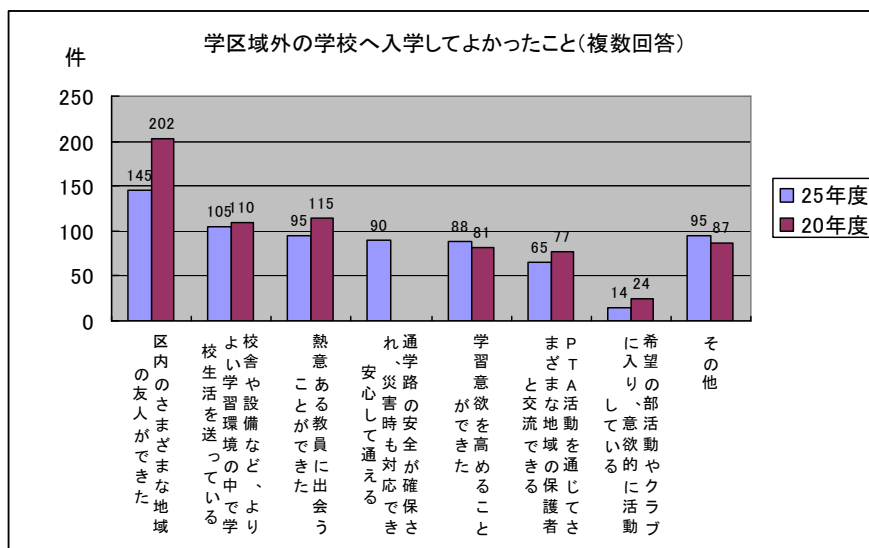
対象者：1,520人(20年度対象者数 1,503人)

回答者：1,295人(20年度回答者数 1,284人)

回収率：85.2%(20年度回収率 85.4%)

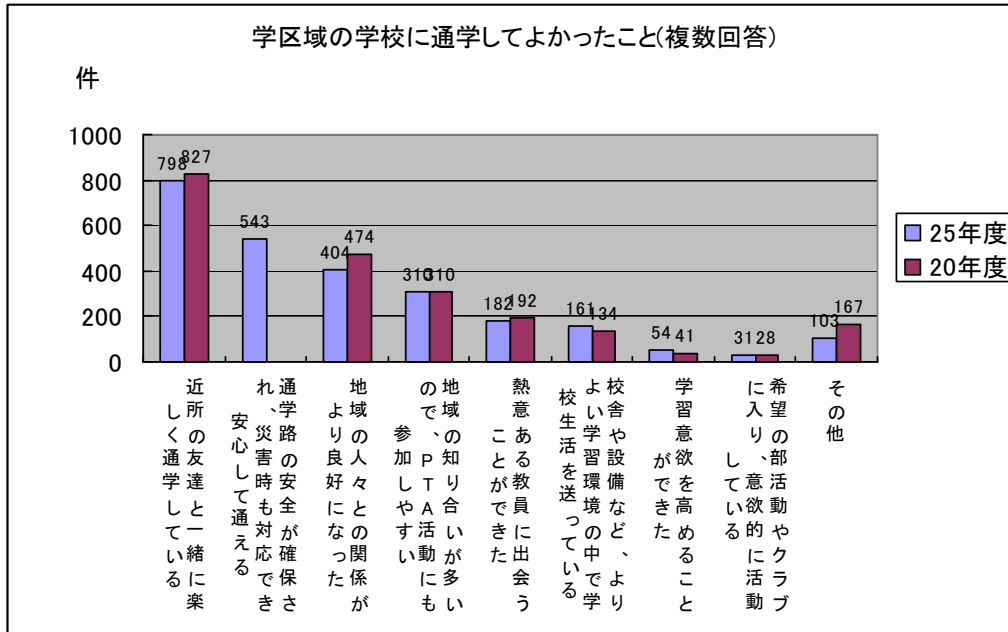
- ① 学校選択制度を利用した保護者に「学区外の学校へ入学してよかったこと」を聞いたところ、結果は以下のとおりであった。

※「通学路の安全が確保され、災害時も対応でき安心して通える」の項目は、25年度調査で追加した。

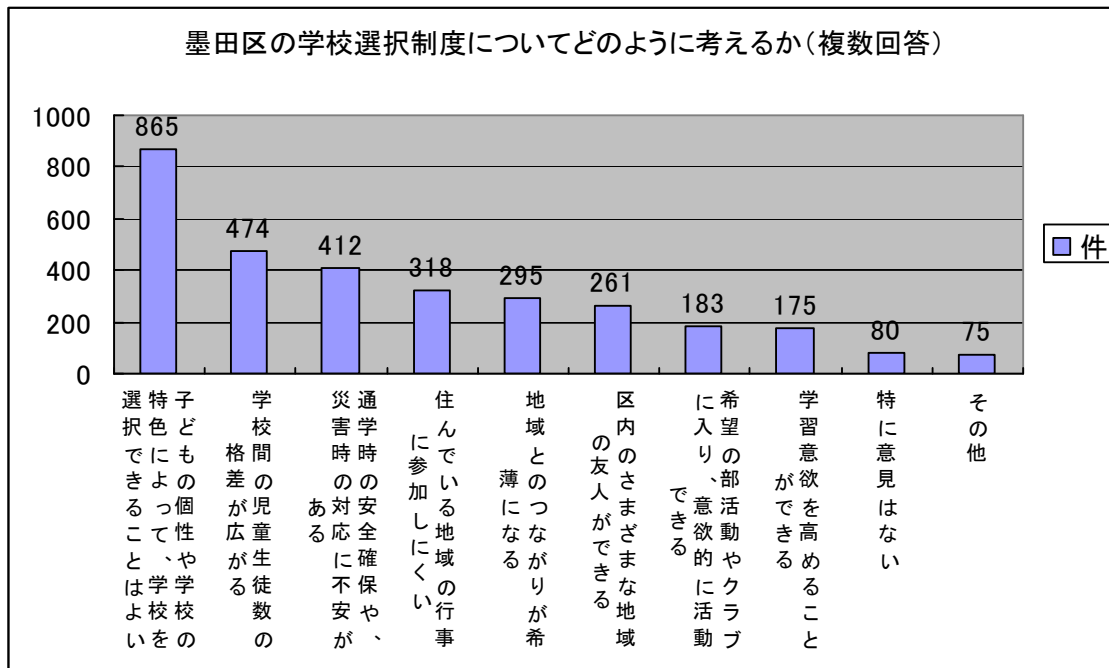


② 学区の学校を選んだ人に「学区域の学校に通学してよかったこと」を聞いたところ、以下の結果となった。

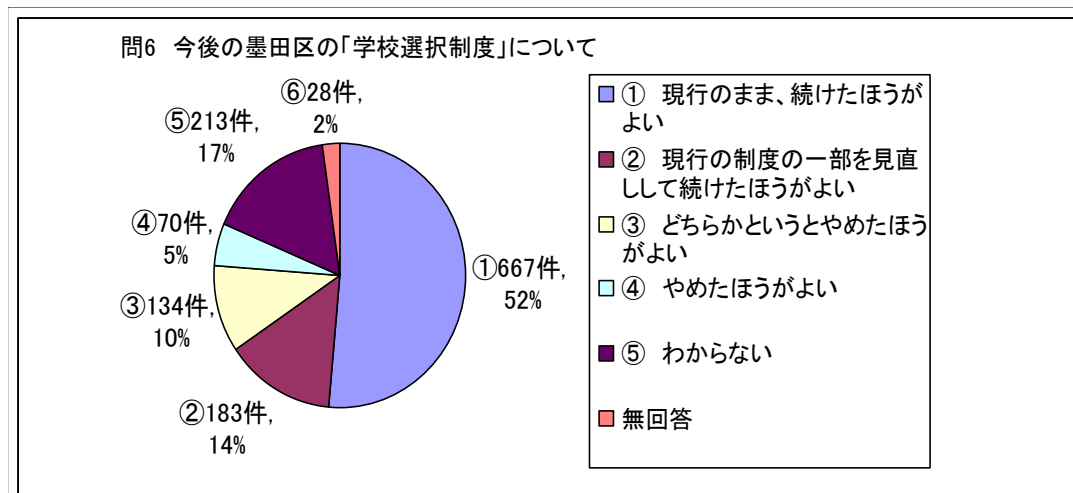
※「通学路の安全が確保され、災害時でも対応でき安心して通える」の項目は、25年度調査で追加した。



③ 平成25年度で初めて設定した、「墨田区の学校選択制度についてどのように考えるか」について聞いてみたところ、「子どもの個性や学校の特徴によって学校を選択できることはよい」との回答が865件で1位となった。



- ④ ③と同様、今回初めての調査として「今後の墨田区の学校選択制度について」の意向を聞いたところ、「現行のまま続けたほうがよい」が 52%であり、「現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい」の14%を合わせると、全体の66%の方が継続を希望している。また、「どちらかというをやめたほうがよい」の10%と「やめたほうがよい」の5%を合わせると15%の方がやめたほうがよいという結果となった。



『現行の制度の一部見直しして続けたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 「徒歩圏内」「自宅からの距離が近い学校のみを選択」「ある程度のブロックを設ける」など、通学する距離の範囲を限定して選択できる見直しの意見。同様意見14人
- ・ 小学校は廃止、中学校から選択できるようにしたほうがよい。同様意見2人
- ・ 複数校選べるとよい。

『どちらかというをやめたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 学校間の格差が大きすぎる。同様意見39人
- ・ 小学校は、地域の学校に通ったほうが良いと思うから。同様意見11人
- ・ 災害時の対応が難しい。同様意見4人

⑤ 「学校選択制度」に関するご意見 ～自由意見欄～

(肯定的な意見)

- ・ それぞれの家庭にいろいろな考えがあると思うので、選択できることは良い事だと思う。
- ・ この制度によって、各学校が個性や特色を高め、先生方の志とひとつになって学校を向上させていけるのであれば、評価できる。
- ・ この制度は続けるべき。通学時のリスクは親の責任において減らせばよい。
- ・ 選択できるので、保護者や児童の意思が反映されるのは、素晴らしいと思う。一方、学校間の格差が広がるので、今以上に学校の特色を打ち出して努力してほしいと思う。
- ・ 学校選択制度がなくなってしまうのでは、という親の不安が子どもに伝わり、子どもの不安を大きくさせてしまうため、続けてほしい。
- ・ 子どもが中学へ上がる頃に、学校選択制度がなくなったら困ると思う。
- ・ 学校公開等で学校の特色、先生、子どもの様子を見て、学校を選択できることは良いと思う。

(否定的な意見)

- ・ 小学校は地域の学校に通うのが好ましい。
- ・ 町会のイベントに参加する事がなくなり、地域の子供同士の遊びが無いように思う。学校を選ぶのではなく学区の学校を良くすることを考えた方がよい。
- ・ 人気のある学校とそうでない学校により、児童数の差が広がる。公立なので教育のカリキュラムの内容に差があるとは考えにくいので、近隣の学校へ通えばよいと思う。
- ・ この制度により、それぞれの学校が良くなるのならば、良いと思う。学校が個性ばかり目立つような営利的になるのなら、本来の学区域のほうが良い。
- ・ 小学校の数を減らし、設備・教育面での均質化を図ったうえで、学校選択制度が無くなればよい。
- ・ 学力に偏りがあるなど、人気のある学校ばかりが児童・生徒数が増え、よくないと思う。
- ・ 地域と密接な関係が希薄になり、学校間の格差も生じ、学校選択制度の見直しの必要性をととも感じる。

(3) 中学校1年生保護者(資料P.37)

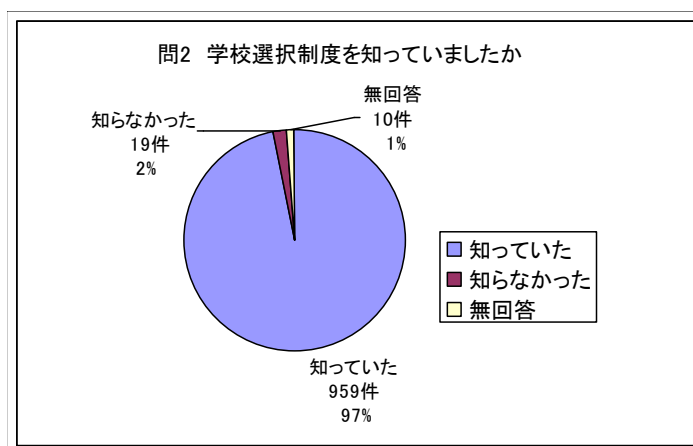
実施：期間平成25年6月7日～28日

対象者：1,278人(20年度対象者数 1,455人)

回答者：988人(20年度回答者数 1,120人)

回収率：77.3%(20年度回収率 77.0%)

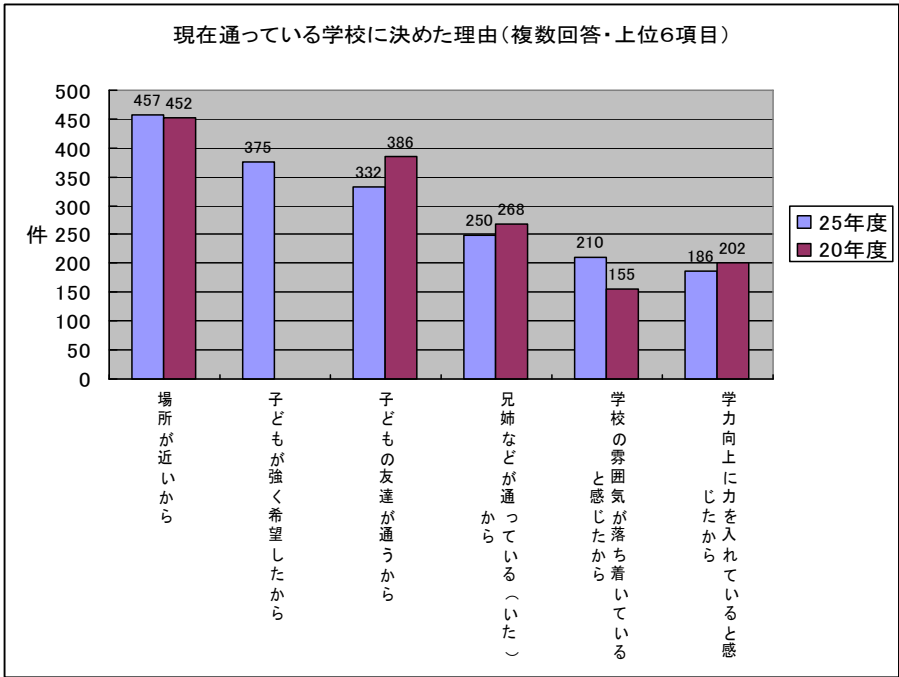
- ① 回答者全員に、20年度の調査になかった「学校選択制度を知っていたか」について聞いたところ、97%の保護者から「知っていた」との回答を得た。



- ② 回答者全員に、現在通っている学校に決めた理由について聞いたところ、「場所が近いから」を選んだ人が457件で1位となった。

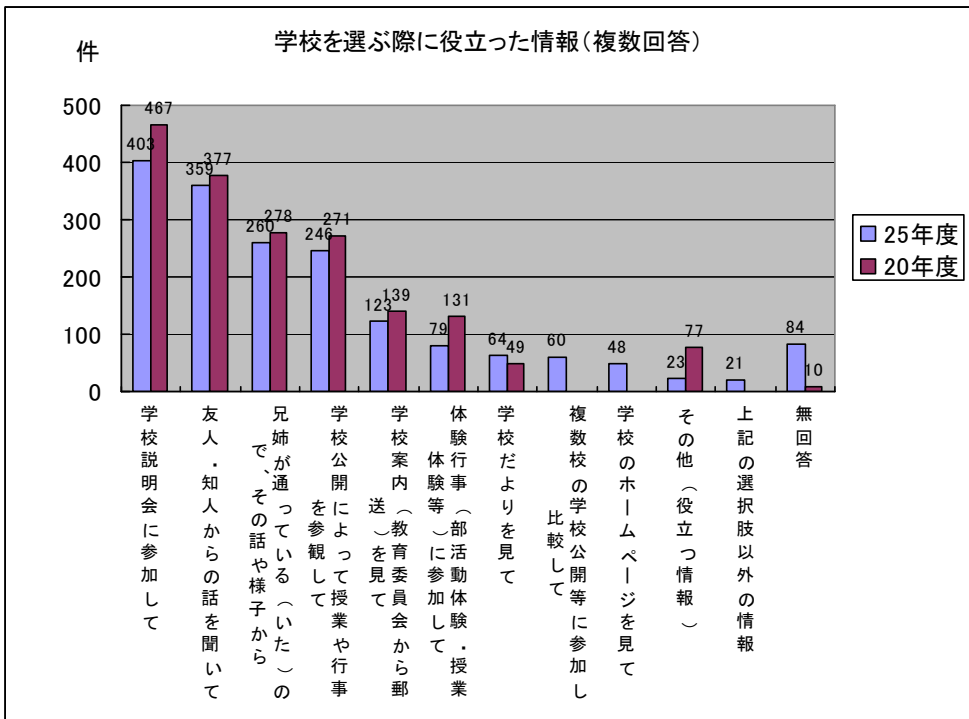
2位は、「子どもが強く希望したから」が375件となっている。

※「子どもが強く希望したから」の項目は、25年度調査で追加した。



③ 学校を選ぶ際に役立った情報では、「学校説明会に参加して」を選んだ人が403件で1位となり、2位以下も20年度調査時と同様の順位で選ばれている。

※「複数校の学校公開等に参加し比較して」「学校のホームページを見て」「上記の選択肢以外の情報」の項目は、25年度調査で追加した。



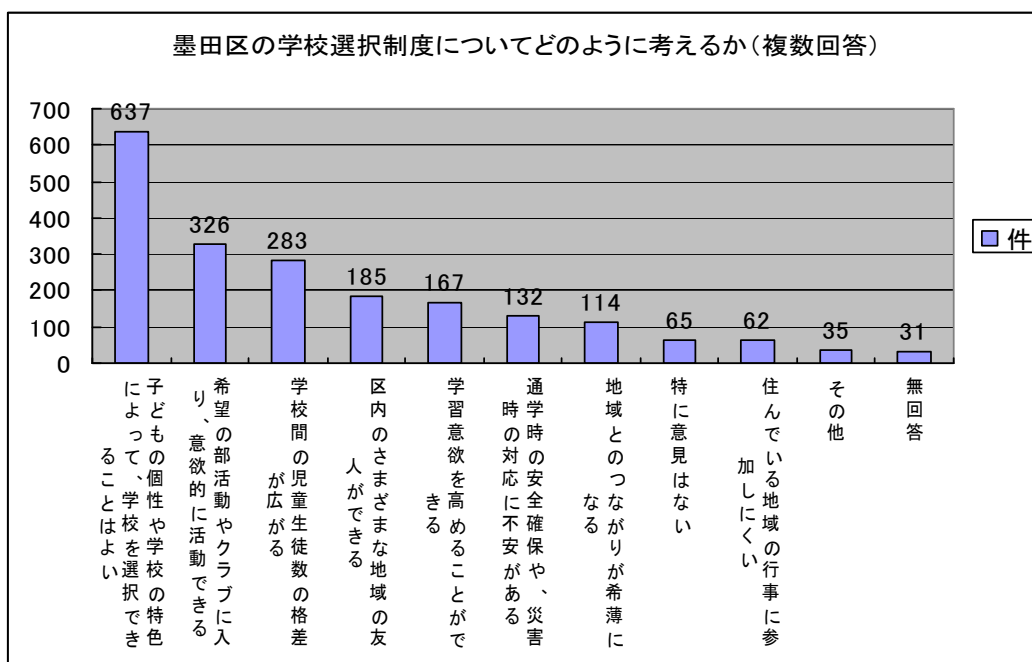
※「複数校の学校公開等に参加し比較して」で、学校公開に参加した学校数の集計結果。

1校・・・6人 2校・・・17人 3校・・・18人 4校以上・・・11人

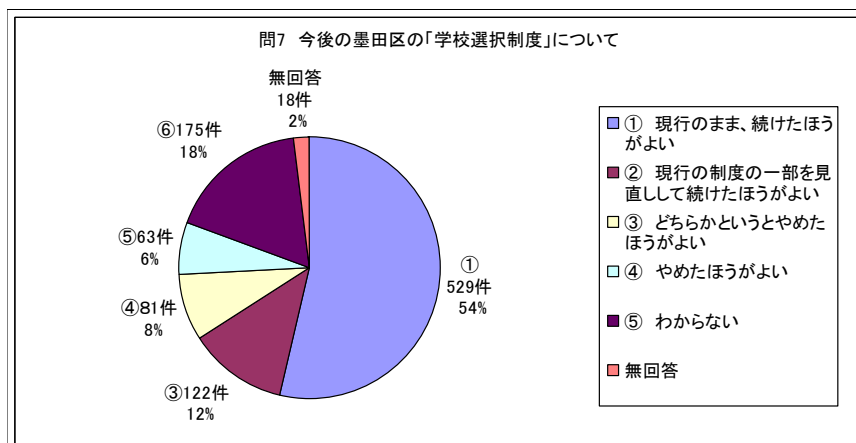
「役立つ情報」「選択肢以外の情報」

- ・ 小学校の担任から
- ・ 塾の先生から
- ・ 小学校のPTA 役員の仕事を通じて
- ・ 家から一番近い学校だったので情報が入りやすい
- ・ 通級教室から
- ・ 登下校時の生徒の様子から

④ 20年度の調査になかった「墨田区の学校選択制度についてどのように考えるか」、について聞いてみたところ、「子どもの個性や学校の特色によって学校を選択できることはよい」との回答が637件で1位となった。



⑤ ④と同様、今回初めての調査として「今後の墨田区の学校選択制度について」の意向を聞いたところ、「現行のまま続けたほうがよい」が54%であり、「現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい」の12%と合わせると、全体の66%の方が継続を希望している。また、「どちらかというをやめたほうがよい」の8%と「やめたほうがよい」の6%を合わせると、14%の方がやめたほうがよいという結果となった。



『現行の制度の一部見直しして続けた方がよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 「徒歩のみで通える範囲内」「自宅からの距離が近い学校のみを選択」「ある程度のブロックを設ける」など、通学する距離の範囲を限定して選択できる見直しの意見。

同様意見 12 人

- ・ 小学校の選択制度の廃止。
- ・ 基本、学区の通学とし、特別な理由のみ学区外を認める。
- ・ 区域は全廃し、第3第4希望まで必要に応じて希望させる。
- ・ 国立・私立などを受験する生徒と、希望校一本で申込んだ生徒と振り分けたほうが良い。

『どちらかというをやめたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 学校によって人数や学力の格差がありすぎるため。同様意見 27 人
- ・ 地域の学校に通わなくなると、地域との関係が薄くなるため。同様意見 5 人
- ・ 通学時間が長くなることは、子どもにとって負担になるため。
- ・ 必ずしも希望した学校に行けるわけではないため。同様意見 2 人

⑥ 「学校選択制度」に関するご意見 ～自由意見欄～

(肯定的な意見)

- ・ 選択肢があることにより、親は子どもに合う学校を選べるので良いと思う。子ども自身が決めることによって進んで登校するので良い制度であると思う。
- ・ 区域外の学校の方が家から近くて通いやすいという理由で、選択制度があった方が良い。
- ・ 公立の質の向上のため、画期的な制度だと思う。
- ・ この制度を必要としている人もいるので、選択の仕方などを保護者に説明し、やみくもに学区外の学校を選ばないように伝えていけば、有効的だと思う。実際に小学校の保護者会でも考え方の指導があり、とても役にたった。
- ・ 選択制度がなくなり、兄弟が別々の学校になると困る。
- ・ 小学校の時にいじめられ仲間はずれにされていた子どもが、そのまま中学校に上がるとますます助長し逃げ場なくなる事もあるので、ひとつの選択肢として学校選択制は必要かと思う。

(否定的な意見)

- ・ 希望した学校に入れないことがあるのはおかしいのでやめた方がよい。
- ・ 人気のある評判の良い学校に生徒が集中し、同じ区立学校であるのに格差ができるのはよくない。
- ・ 小学校に関しては絶対にやめてほしい。地元の子供会、町会の行事に影響があるため。
- ・ 正当なる抽選でないから。補欠番号の早い生徒が入れなくて、補欠番号の遅い生徒が入れるのはおかしい。
- ・ 公立の学校に選択制度はいらないと思う。生徒数の格差が広がり、部活動なども意欲的に活動できない子供たちがかわいそう。学力、生徒数、設備面で差のない学校づくりをお願いしたい。
- ・ 選択制度はいじめ等の理由のみにし、学校間の生徒数の偏りができてしまうので、基本学区区域制度にするのが良い。

(その他意見)

- ・ 幼・小・中一貫教育を目指すのならば、ひとつのブロック内で通学できるようにした方がよい。

- ・ 他県から引っ越ししてきたので、学校情報が少なく、人気の学校は一杯で入れなかった。入学した学校は学習面など問題が多い。地元の父母の話が一番確かな情報だった。

(4) 中学校2年生保護者（資料 P.40）

実施：期間平成25年6月7日～28日

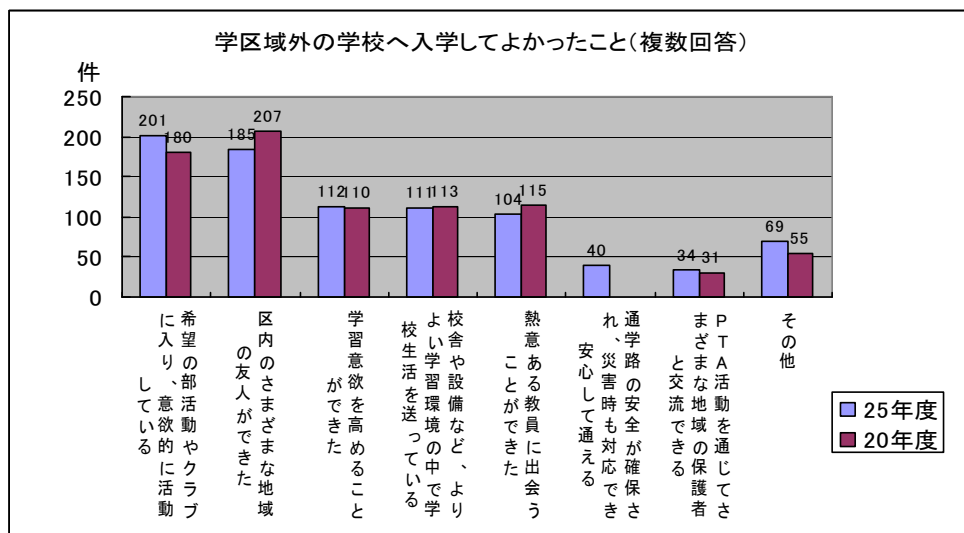
対象者：1,323人（20年度対象者数 1,281人）

回答者：1,005人（20年度回答者数 981人）

回収率：76.0%（20年度回収率 76.6%）

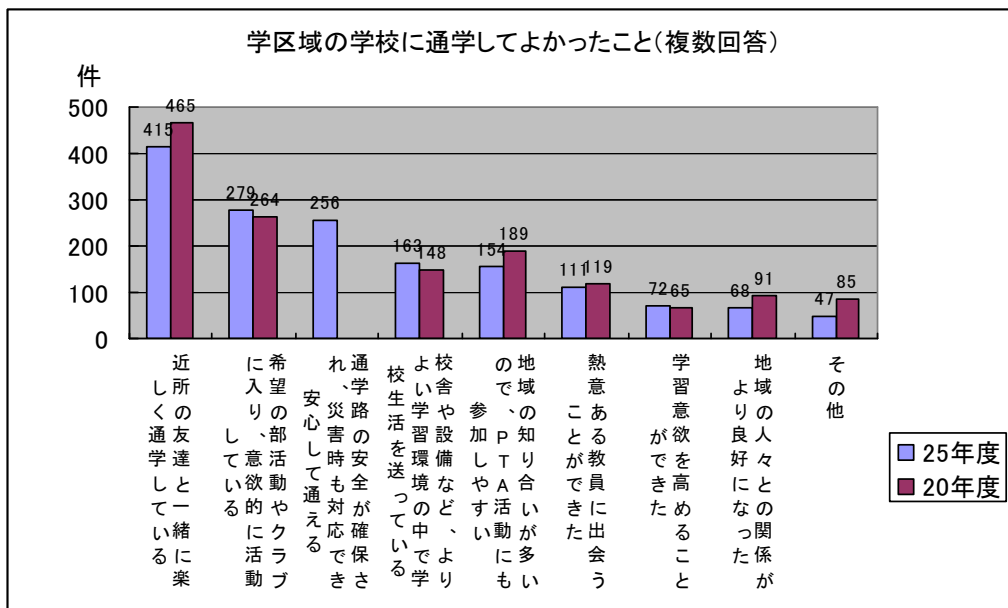
- ① 学校選択制度を利用した保護者に「学区外の学校へ入学してよかったこと」を聞いたところ、「希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動している」が1位となり、20年度の調査で1位であった「区内のさまざまな地域の友人ができた」が2位となっている。

※「通学路の安全が確保され、災害時でも対応でき安心して通える」の項目は、25年度調査で追加した。

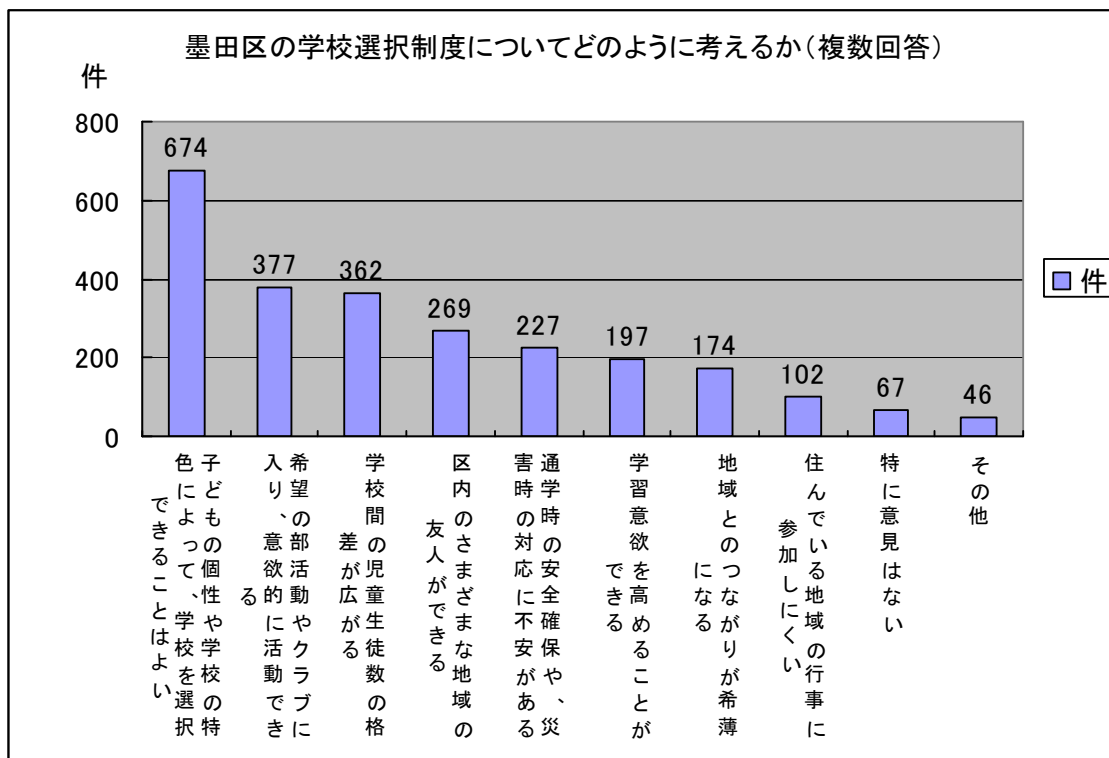


② 学区の学校を選んだ人に「学区の学校に通学してよかったこと」を聞いたところ、「近所の友達と一緒に楽しく通学している」が415件と前回同様1位となった。2位は279件の「希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動している」となった。

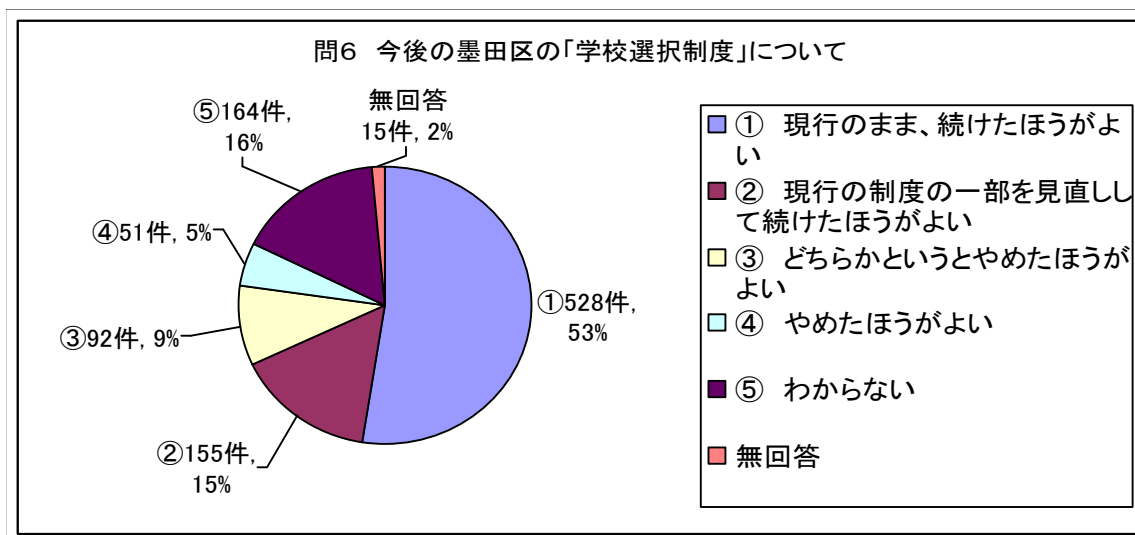
※「通学路の安全が確保され、災害時も対応でき安心して通える」の項目は、25年度調査で追加した。



③ 20年度の調査になかった「墨田区の学校選択制度についてどのように考えるか」、について聞いてみたところ、「子どもの個性や学校の特徴によって学校を選択できることはよい」との回答が674件で1位となった。



- ④ ③と同様、今回初めての調査として「今後の墨田区の学校選択制度について」の意向を聞いたところ、「現行のまま続けたほうがよい」が 53%であり、「現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい」の 15%と合わせると、全体の 68%の方が継続を希望している。また、「どちらかというをやめたほうがよい」9%と「やめたほうがよい」5%を合わせると、14%の方がやめたほうがよいという結果となった。



『現行の制度の一部見直しして続けたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 「徒歩のみで通える範囲」「小学校は徒歩のみで通える範囲」「近隣2、3校から選択できる方法」など、通学する距離の範囲を限定して選択できる見直しの意見 同様意見17件
- ・ 受入人数をもっと制限したほうが良い。
- ・ 定員を広げてほしい。
- ・ 兄弟姉妹は、抽選のない特別枠にする。

『どちらかというをやめたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 学校間の格差が大きくなるため。同様意見40人
- ・ 地域との関係が続かなくなるため。同様意見5人
- ・ 統廃合のひとつの要因となるため。
- ・ 電車通学等、遠距離の通学経路の安全確保や災害時の家庭との連携等において、現在の公立中が対応可能なのか不明である。それらの対応が現場の教職員の負担になると考えられるため。
- ・ 学力でなく抽選で入れないのはおかしい。

⑤ 「学校選択制度」に関するご意見 ～自由意見欄～

(肯定的な意見)

- ・ 自由に選択できることは良い事だとおもう。
- ・ 部活や環境を変えたい場合など、子どもに明確な意思があるときは、選択制度があった方がよい。
- ・ 兄弟がいるため制度は続けてほしいと思う。
- ・ 選択制度は希望が持て、とても良いと思う。子どもの個性があるので、希望校に入学できれば安心する。
- ・ 友人関係などで子どもが悩んだ時に逃げ場がなくなってしまうので、選択制度は無くさない様にし

てほしい。

- ・ 希望の部活が有る学校を選択できることは良い。制度は続けるべき。
- ・ 兄弟で違う学校を選んだ。兄弟でも個性が違い、学校もカラーが違うのでこの制度は良いと思う。
- ・ 墨田区で学区の変更があるため、そのうえ選択制が無くなってしまったら困るため、制度を継続してほしい。

(否定的な意見)

- ・ 地元の学校が嫌であれば、受験というひとつの選択肢がある。高校は自由に選べるのだから、中学までは地域の方に見守られながら様々な環境の中で学ぶ事は、成長過程でとても大切であるため選択制は無い方がよい。
- ・ 遠くから通学する生徒が可哀想である。制度が有るがために選択してしまうというのは、いかなるものか。
- ・ 地域の人たちとのつながりの希薄さや地震などの災害の不安、学校間の格差が広がるなどの心配があるため、なるべく学区内の中学校にしたほうが良い。
- ・ 学校間の格差が年々広がっているように感じる。いじめ等でどうしても学区に適さない場合のみの制度の活用が良いと思う。
- ・ 公立学校を選んで学校を決めるのであれば、地域のつながりも大切にして欲しい。
- ・ 小学校は遠方からの通学は危ないため、選択制をやめた方がよい。中学校は通学範囲の見直しが必要からやめた方がよい。

(その他意見)

- ・ たとえ選択ができて、評判の良い学校は選ばないのは当然である。まずは、どの学校も選びたくなるような学校にすることが大事ではないか。
- ・ 今通っている学校ではあまり聞いた事がないが、生徒が荒れているからか授業にならない学校もあるらしい。これが学区の学校であったら、制度を利用すると思う。
- ・ 各中学の学習指導内容、学力レベルなどを同じにしてほしい。

(5) 地域関係者 (資料 P.42)

実施：期間平成25年6月14日～28日

対象者：町会・自治会長 167人 (20年度対象者数 166人)

青少年委員 28人 (20年度対象者数 32人)

青少年育成委員長 12人 (20年度対象者数 12人)

回答者：町会・自治会長 131人 (20年度対象者数 124人)

青少年委員 20人 (20年度対象者数 15人)

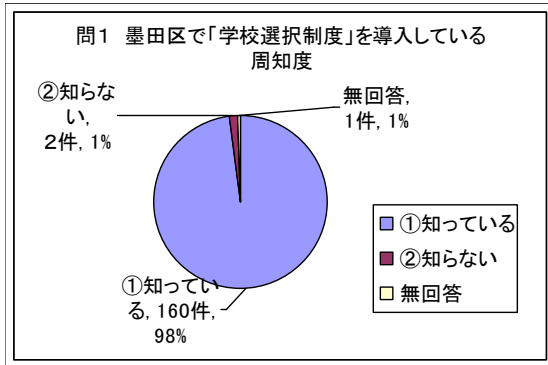
青少年育成委員長 9人 (20年度対象者数 9人)

回収率：町会・自治会長 74.7% (20年度回収率 83.8%)

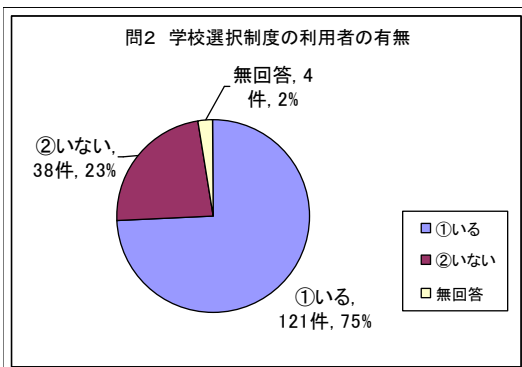
青少年委員 71.4% (20年度回収率 10.1%)

青少年育成委員長 75.0% (20年度回収率 6.1%)

- ① 回答者全員に、20年度の調査になかった「墨田区で学校選択制度を導入している周知度」を聞いたところ、98%の方が「知っている」との回答を得た。

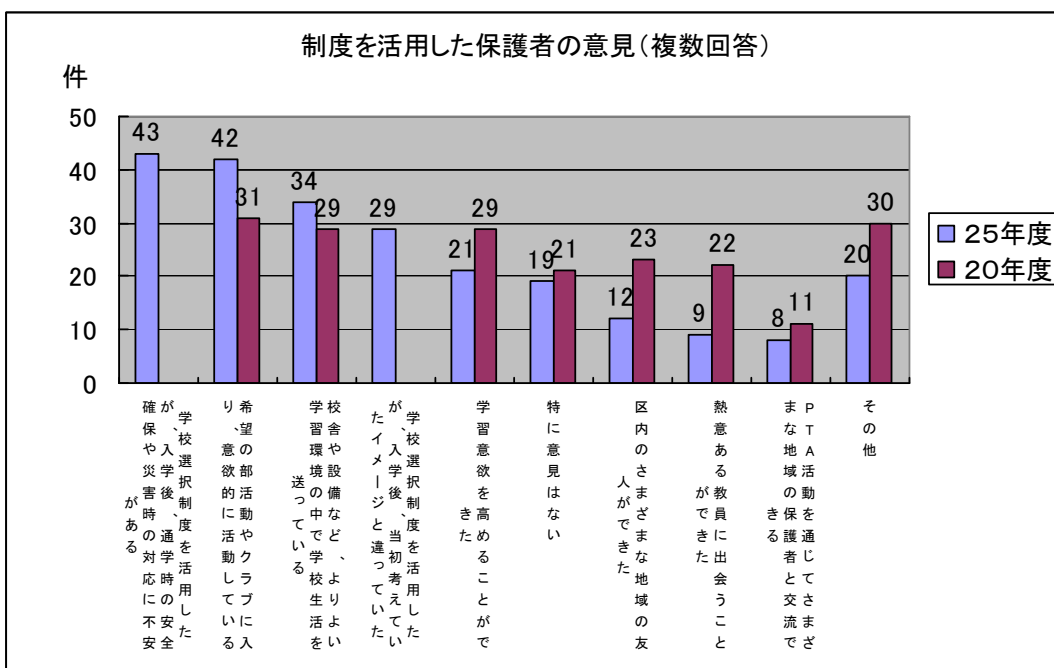


- ② 町会・自治会（会長または役員）・青少年委員・青少年育成委員長の身近な方で、「学校選択制度の利用者の有無」を聞いてみたところ75%の方がいるとの回答があった。



- ③ 身近な方の制度の活用度は、「学校選択制度を活用したが、入学後、通学時の安全確保や災害時の対応に不安がある」の項目が43件で1位となった。

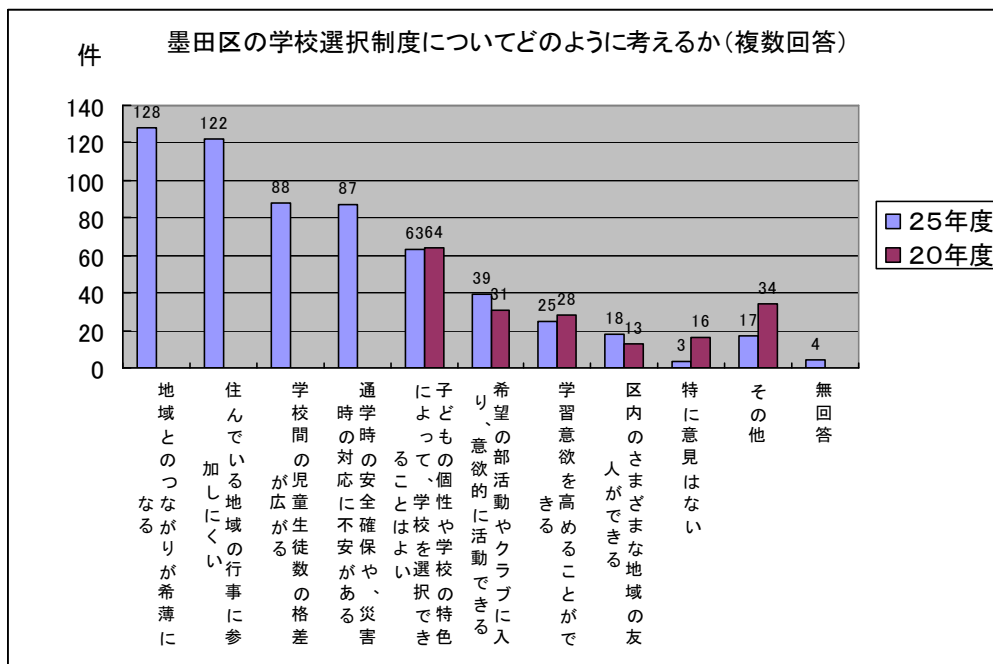
※「学校選択制度を活用したが、入学後、通学時の安全確保や災害時の対応に不安がある」「学校選択制度を活用したが、入学後、当初考えていたイメージと違っていた」の項目は、25年度調査で追加した。



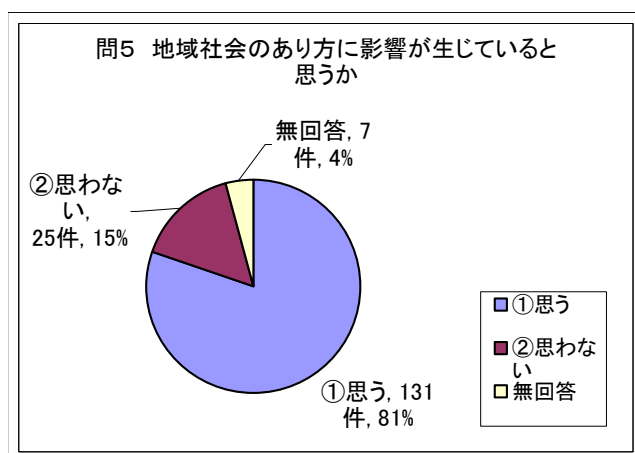
- ④ 「墨田区の学校選択制度についてどのように考えるか」を回答者全員に、項目選択により聞いてみたところ、以下の結果となった。

「地域とのつながりが希薄になる」の回答が128件の1位となっている。以下2位は「住んでいる地域の行事に参加しにくい」、3位は「学校間の児童生徒数の格差が広がる」となった。

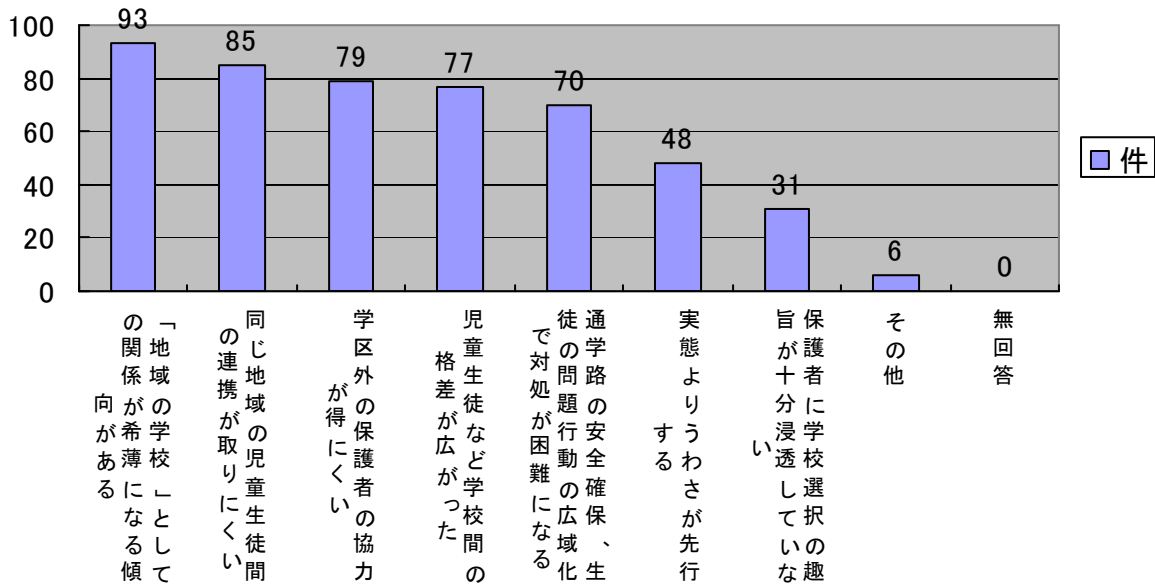
※「地域とのつながりが希薄になる」「住んでいる地域の行事に参加しにくい」「学校間の児童生徒数の格差が広がる」「通学時の安全確保や、災害時の対応に不安がある」の項目は、25年度調査で追加した。



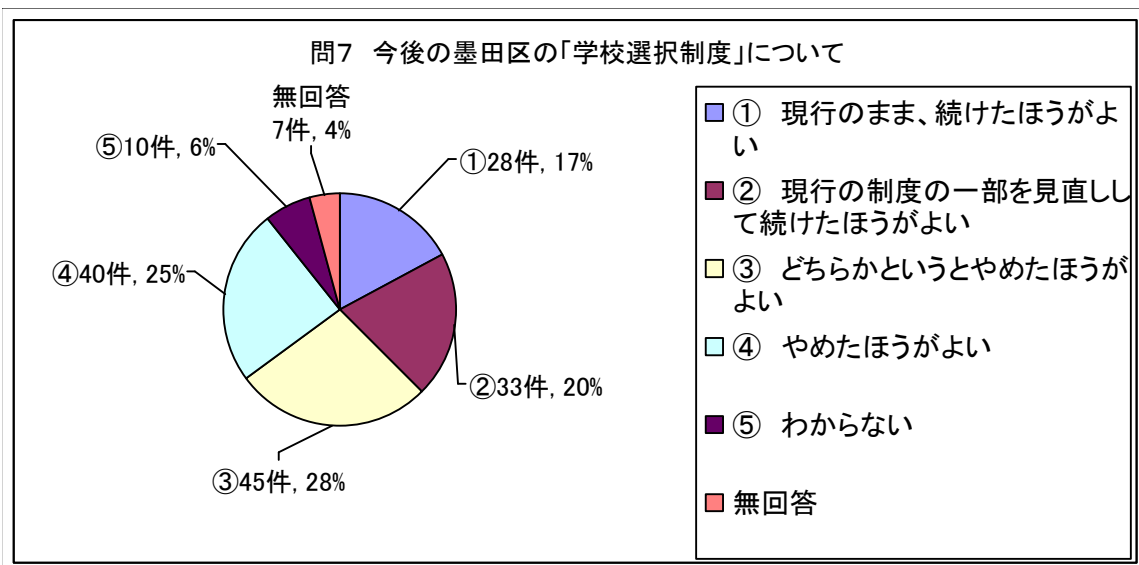
- ⑤ 学校選択制度の導入によって、「地域社会のあり方に影響が生じていると思うか」の質問に、「影響が生じていると思う」と答えた方が81%となり、「影響が生じていると思わない」は15%となった。また、「思う」と答えた方に、どのような影響が生じるか聞いたところ、結果は以下のとおりとなった。



問5-表2 地域社会のあり方に影響が生じると「思う」と回答した方に
どのような影響が生じるか(複数回答)



⑥ 平成25年度で初めて設定した、「今後の墨田区の学校選択制度について」の意向を聞いたところ、「現行のまま続けたほうがよい」が17%、「現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい」の20%と合わせると、37%の方が継続を希望している。「どちらかというをやめたほうがよい」の28%と、「やめたほうがよい」の25%を合わせて53%の方がためたほうがよいという結果となった。地域の方と保護者とで逆転の現象が見られる。



『現行の制度の一部見直しして続けたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 小学校においては（統合合併により）廃止し、中学校においては継続とする。同様意見6件

- ・ 小学校の学校選択制度は必要なし。(保護者の都合がある場合は除く) 同様意見 2 件
- ・ 児童、生徒数の最低制限(適正な人数)を設ける。同様意見 2 件
- ・ 中学校は現行のまま、小学校は徒歩で通える範囲への見直し。 同様意見 1 件
- ・ 区内をブロックに分けて、ブロック内での選択制にする。
- ・ その学校の部活に入りたいなどの理由があれば良いと思う。

『どちらかというをやめたほうがよい』の理由 ～記入欄～

- ・ 小学校だけでもやめたほうがよい。「地域の学校」としての関係が薄れる。同様意見 6 人
- ・ 子ども会に入らない。子ども会の行事に参加しなくなる。子ども会が無くなる。PTA も無くなる。(地域への関心が薄れる。) 同様意見 5 人
- ・ 公立学校(義務教育)という観点から、地域性を重んじるべきだと思う。同様意見 2 件
- ・ 子どもは地域の宝であり、地域が育てるものだと考えているから。地域の子供達とのつながりが希薄になり、地域が活性しない。 同様意見 2 件

⑦ 「学校選択制度」に関するご意見 ～自由意見欄～

(肯定的な意見)

- ・ 多数決になれば、制度は有りになるだろうが、地域活動の弊害が多いため、現行の制度の一部を見直しして、「小学校のみ制度をやめ学区制」にするべき。
- ・ 小学校は学校選択を活用している9割が徒歩で通える学校に選択していると聞いた事がありますが、これを制度化したほうが良いと思う。選択範囲をブロック化する。
- ・ 学校選択制度は中学生のみが良いと思う。
- ・ 特色のある学校、又はそれぞれの事情にあった学校が選択できることは良いと思います。
- ・ 統廃合、通学域の変更があったとしても、学校選択制度は残すべき。親が子に対する思いと学校間の競争意識を持たせるべき。
- ・ 子ども自身が思う、どんな学校に行きたいか、そこで何を学びたいかという希望に近い学校に通える事は、その子の将来にも大きな影響を与えるので、選択制度は有意義だと思う。住んでいる地域、通っている学校がある両地域の活動に参加できるような地域作りができれば、子どもたちの居場所も多くなり、地域との関わりの場も増やせると思う。

(否定的な意見)

- ・ 小学校までは地域の学校にして選択制度はやめるべき。
- ・ 子どもが選択して学校を選んでいる訳ではないのが現状だと思う。このアンケートにおいて区の教育行政を改善することはあるのか。何のためのアンケートか理解しかねる。
- ・ 現在の制度では、学校間の格差が広がり過ぎてしまう。教員が努力して生徒指導をしても、わがままな一部の生徒、保護者の身勝手な行動・言動が「うわさ話」として外部に広がり学校全体のこととしての評価になってしまい、新入生を減らしている大きな要因になってしまう。
- ・ 義務教育期間中は学区制度をとり、高校で個人の能力により就学する学校が異なるわけだから、学校選択制度は廃止するべきではないか。
- ・ 選択制度はよくない。仲間意識、地元意識を無くす。やめるべき。
- ・ 学校、家庭、地域の連携がとれなくなる。学区域制にし、地域の学校に行くことで、連帯感ができ、親子で地域行事に参加しやすくなる。

(その他意見)

- ・ 通学区域外の学校を選択した親御さんの何故その学校を選択したのか理由を知りたい。また、何故地元の学校を選ばなかったのかの理由も。
- ・ やめる、やめない、どちらとも言えない。どちらにもメリット・デメリットがある。地域としては、学校・家庭との関係について工夫していく必要がある。
- ・ 中学生と顔を合わせる機会がないため、町内の中学生がどこの中学校に通っているのかわからない。町会では対応できない。

4 学校選択制度のアンケート結果から伺える全体的な傾向

(1) 保護者からの評価

保護者が学校を選ぶ理由として、小学校1年生、中学校1年生とも「場所が近いから」が1位となり、自宅から学校までの通いやすさを優先に考えている傾向がある。特に小学校1年生の保護者は、兄弟や友達に通うこと、地域とのかかわり、通学の登下校時の安全を重要視している傾向がある。一方、中学校1年生の保護者は、場所が近い事他に、子どもが入学したい希望や兄弟・友達が通っている事、学校の雰囲気が良い事等、学校生活の充実を重要視している傾向がある。

小学校2年生と中学校2年生の保護者へのアンケートの中で、学区域外の学校を選び入学して、または学区の学校に入学して、良かったことについての質問では、小学校の保護者は、「区内のさまざまな地域の友人ができた」「校舎や設備など、よりよい学習環境の中で学校生活を送っている」「近所の友達と一緒に楽しく通学している」「通学路の安全が確保され、災害時も対応でき安心して通える」の項目を選ぶ傾向があり、中学校の保護者は、「区内のさまざまな地域の友人ができた」「希望の部活動やクラブ活動に入り、意欲的に活動している」「近所の友達と一緒に楽しく通学している」の項目を選ぶ傾向にあった。

このことから、小学校の保護者は、子どもが安全で楽しい学校生活を送るために、より安心して登下校ができる近い学校を求めている事がわかる。また、中学校の保護者は、子どもに充実した学校生活を送らせるために、学校の良い雰囲気や部活動の充実している学校を求めている。

保護者からのアンケートでは、全体的に「子どもの個性や学校の特色によって学校を選ぶことは良い」という意見が多く、制度に対する一定の理解があることが確認できる。

(2) 地域関係者の評価

一方、地域関係者アンケートでは、学校選択制度による地域社会のあり方にどのような影響が生じているかとの質問に対して、「学校と地域との関係が希薄になる」「同じ地域の児童生徒間の連携が取りにくい」「学区外の保護者の協力が得にくい」「学校間の児童生徒数に格差が生じている」などの項目を選ぶ方が多く、地域に及ぼす影響を懸念する声があがっている。

(3) 全体的な評価

今回のアンケートでは、小・中学校の保護者は、学校選択制度を現行のまま継続、一部見直した上で継続と答えた方が、わせて約7割という結果であった。

また、地域関係者のアンケートでは、学校選択制度を現行のまま継続、一部見直した上で継続が37%で、やめたほうがよい、または、なるべくやめたほうがよいとの項目を選んだ方が、53%となった。

(4) その他意見

学校選択制度に関する自由意見として、保護者、地域関係者ともに「自由に選択できることはよい」「個人の事情によって選択できる」「学区域の学校よりも自宅から近い学校が選べる」「兄弟がいるため学校選択制度は続けてほしい」などの学校選択制度への肯定的意見や、「通学距離が遠くなり不安である」「地域との関係が薄くなる」「抽選があることは不平等」「学校間の格差が広がる」などの否定的意見があった。

5 学校選択制度の課題と方向性

- (1) 学校選択制度は、通学区域の学校を基本に、児童生徒及び保護者が墨田区内の学校を選択できる制度であることから、文部科学省通知にもあるように、保護者の意向を踏まえて運用する必要があること。
- (2) 東日本大震災の教訓から、地震などの緊急時に備えるため、児童・生徒の登下校時の安全安心を確保する必要があること。特に小学生は、十分な配慮が必要なこと。
- (3) 学校選択制度は、保護者のための制度であるが、町会、自治会からは、「地域との繋がりが希薄になる」などの制度に対する意見が強くあることから、学校や保護者は、町会や自治会などの地域への関心を高め、積極的に関わる必要があること。
- (4) 学校選択制度は、学校教育法施行規則に基づく制度ではあるが、保護者等の意向は、時代の趨勢とともに変化する可能性があるため、定期的にアンケートを実施する必要がある。

6 まとめ

前回のアンケート調査からこの間までに、東日本大震災の発生、東京スカイツリーの開業など、地域を取り巻く環境が変化してきている。また、学校教育においては、幼保小中一貫教育、学力向上への取り組み、いじめ問題など、新たな取り組みが求められている。今回のアンケート調査結果に基づき、どのように保護者等の意向を反映させていくか、平成27年度に向け、教育委員会において検討していく。

—参考—

【文部科学省から各市区町村への通知】

- ①「通学区域制度の弾力的運用について」（文初小第 78 号 平成 9 年 1 月 27 日）
行政改革委員会の「規制緩和の推進に関する意見（第 2 次）」（平成 8 年 12 月 16 日）において、保護者の意向に対する十分な配慮や選択機会の拡大の重要性、学校選択の弾力化に向けた取組などについて提言がなされた。今後、教育上の影響等に留意しつつ、通学区域制度の弾力的運用に努めること。

- ②「学校教育法施行規則の一部を改正する省令について」（14 文科初第 1330 号 平成 15 年 3 月 31 日）
各市町村の教育委員会の判断により学校選択制度を導入できること及びその手続き等を明確化すること、指定された就学校の変更を希望する場合の要件や手続等について明らかにすること。

- ③「学校教育法施行規則第 8 条に基づく就学校の変更の取扱いについて」（17 文科初第 1138 号 平成 18 年 3 月 30 日）
指定校制度の取扱いについて、保護者の申立てができる旨を保護者に対して示すものとする。こと。
※ 指定校変更制度とは、地理的な理由や身体的な理由、いじめの対応を理由とする場合の外、児童・生徒の具体的な事情に即して相当と認めるときは、保護者から申立てができること。

- ④「学校教育法施行令第 8 条に基づく就学に関する事務の適正化等について」（19 文科初企第 1388 号 平成 20 年 3 月 31 日）
市区町村の教育委員会は、指定校変更の制度の、就学校の変更を相当と認める場合の要件及び手続の公表について適正に行うこと。

[別紙1]

平成25年度 入学に向けた児童・生徒の選択状況について

表1 選択状況、入学等の推移

小中学校別項目・年度			14年度		15年度		16年度		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		
			人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	
小学校	締切り時点	住基児童数	1,501	100.0	1,637	100.0	1,628	100.0	1,684	100.0	1,704	100.0	1,678	100.0	1,742	100.0	1,697	100.0	1,711	100.0	1,626	100.0	1,665	100.0	1,787	100.0	
		選択人数			292	17.8	395	24.4	370	22.0	361	21.2	428	25.5	413	23.7	441	26.0	421	24.6	464	28.5	450	27.0	413	23.1	
	4月7日現在	墨田区立	全入学数	1,422	100.0	1,512	100.0	1,525	100.0	1,583	100.0	1,597	100.0	1,530	100.0	1,600	100.0	1,585	100.0	1,579	100.0	1,489	100.0	1,537	100.0	1,625	100.0
			選択数			256	16.9	352	23.1	323	20.4	315	19.7	355	23.2	331	20.7	370	23.5	353	22.4	369	24.8	294	19.1	326	20.1
		指定校変更数	205	14.2	22	1.6	15	1.0	23	1.5	27	1.7	23	1.5	39	2.4	32	2.0	38	2.4	41	2.8	74	4.8	47	2.9	
	都立・私立等	59	3.9	84	5.1	106	6.5	87	5.2	97	5.7	121	7.2	69	4.0	62	3.7	59	3.4	62	4.2	70	4.5	35	2.2		
中学校	締切り時点	住基生徒数	1,449	100.0	1,382	100.0	1,452	100.0	1,422	100.0	1,413	100.0	1,575	100.0	1,562	100.0	1,572	100.0	1,591	100.0	1,713	100.0	1,746	100.0	1,679	100.0	
		選択人数	301	20.8	371	26.8	473	32.6	482	33.9	546	38.6	646	41.0	660	42.3	726	46.2	676	42.5	819	47.8	777	45.0	734	43.7	
	4月7日現在	墨田区立	全入学数	1,197	100.0	1,194	100.0	1,223	100.0	1,157	100.0	1,182	100.0	1,270	100.0	1,212	100.0	1,270	100.0	1,270	100.0	1,331	100.0	1,314	100.0	1,277	100.0
			選択数	219	18.3	242	20.3	336	27.5	348	30.1	396	33.5	410	32.3	429	35.4	450	35.5	412	32.4	440	33.1	468	35.6	438	34.3
		指定校変更数	13	1.1	17	1.4	11	0.9	14	1.2	17	1.4	14	1.1	15	1.2	18	1.4	22	1.7	29	2.2	21	1.6	14	1.1	
	都立・私立等	360	24.8	286	20.7	326	22.5	370	26.0	316	22.4	402	25.5	346	22.2	355	22.6	346	21.7	359	27.0	384	29.0	324	25.4		

※選択数とは、希望選択をした人の中で実際に希望校へ進学した人数である。

※平成25年度4月7日現在の区域外就学数は、小学校2人、中学校5人である。

表2 平成25年度入学に向けた児童・生徒の選択状況(平成24年11月12日現在)

小中学校別選択状況		小学校		中学校	
		人数	割合(%)	人数	割合(%)
住基児童・生徒数		1,787	100.0	1,679	100.0
学区の学校を選択した数		1,374	76.9	945	56.3
学区外の学校を選択した数		413	23.1	734	43.7
内訳	隣接する学校を選択した数	353	19.8	513	30.6
	隣接する学校以外を選択した数	60	3.4	221	13.2
学区・隣接する学区の学校を選択した数		1,727	96.6	1,458	86.8

学区 希望	緑	外 手	二 葉	錦 糸	中 和	言 問	小 梅	柳 島	業 平	両 国	横 川	菊 川	第三 吾孀	第四 吾孀	第一 寺島	第二 寺島	第三 寺島	曳 舟	中 川	東 吾孀	押 上	八 広	隅 田	立花 吾孀の森	梅 若	出 合 計	隣 接 す る の 希 望 選 択	隣 接 す る 希 望 選 択 し な い	隣 接 校 内 選 択 率	隣 接 校 外 選 択 率	隣 接 校 数
緑			1	2	1					9		6														19	19	0	100%	0%	5
外手			1	2				1	1	1	4	1														11	8	3	73%	27%	5
二葉										2		1														3	3	0	100%	0%	6
錦糸		1	3					14	4	3		6									1					32	28	4	88%	12%	6
中和										3		6														9	9	0	100%	0%	3
言問							7								4			1			1					13	12	1	92%	8%	4
小梅		1		2		2			2	1	15															23	20	3	87%	13%	5
柳島				3					7	3																15	12	3	80%	20%	3
業平				2				1		1	4						1									9	7	2	78%	22%	8
両国					1																					1	1	0	100%	0%	3
横川		2																								2	2	0	100%	0%	3
菊川				2	2						1															5	4	1	80%	20%	4
第三吾孀													2			3	2	1				2				10	10	0	100%	0%	5
第四吾孀						1				1			7					3	1	2	9					24	22	2	92%	8%	6
第一寺島						6	2			1						2		1			2					14	11	3	79%	21%	5
第二寺島															5		3									9	9	0	100%	0%	5
第三寺島						1				1					5	4		2								21	19	2	90%	10%	5
曳舟														1	4		1			1	2					9	8	1	89%	11%	5
中川										1			8	1						2	14	1			4	29	23	6	79%	21%	4
東吾孀																			2					2		4	4	0	100%	0%	3
押上							1			1	1		1	2	2						2				3	13	8	5	62%	38%	8
八広													13			1	3		1							20	20	0	100%	0%	5
隅田							1									2									1	4	3	1	75%	25%	3
立花吾孀の森																	1			7						8	7	1	88%	12%	3
梅若									1	1					1	7		1						8		19	16	3	84%	16%	3
入合計	0	4	5	13	4	10	10	17	15	30	24	20	29	6	21	16	11	10	6	26	18	10	11	9	1	326	285	41	87%	13%	4.6
隣接する 通学区域から の希望選択	0	4	5	11	4	8	7	16	14	14	23	19	28	6	21	16	10	8	5	23	16	10	11	5	1	285					
隣接しない 通学区域から の希望選択	0	0	0	2	0	2	3	1	1	16	1	1	1	0	0	0	1	2	1	3	2	0	0	4	0	41					
隣接校内選 択率	0%	100%	100%	85%	100%	80%	70%	94%	93%	47%	96%	95%	97%	100%	100%	100%	91%	80%	83%	88%	89%	100%	100%	56%	100%						
隣接校外選 択率	0%	0%	0%	15%	0%	20%	30%	6%	7%	53%	4%	5%	3%	0%	0%	0%	9%	20%	17%	12%	11%	0%	0%	44%	0%						

[別紙3]

平成25年度 新中学校1年生希望選択学区別内訳

(平成25年4月7日現在)

希望 学区	墨田	本所	両国	竖川	錦糸	吾孺第一	吾孺第二	寺島	立花	文花	桜堤	出 合 計	希 望 選 択	隣 接 す る 区 域 へ の 希 望 選 択	隣 接 し な い 区 域 へ の 希 望 選 択	隣 接 校 内 選 択 率	隣 接 校 外 選 択 率	隣 接 校 数
													希 望 選 択	隣 接 す る 区 域 へ の 希 望 選 択	隣 接 し な い 区 域 へ の 希 望 選 択	隣 接 校 内 選 択 率	隣 接 校 外 選 択 率	隣 接 校 数
墨田		11	5		2		3	9		3	4	37	27	10	73%	27%	4	
本所			5		10					1		16	16	0	100%	0%	4	
両国		2		2	4							8	8	0	100%	0%	3	
竖川		3	16		18		1					38	34	4	89%	11%	2	
錦糸		16	14	2					1			33	32	1	97%	3%	3	
吾孺第一			5				10	15	52	4		86	81	5	94%	6%	4	
吾孺第二	1	6				1		16	1		1	26	18	8	69%	31%	3	
寺島	7	3	1				11			1	4	27	23	4	85%	15%	5	
立花		3	3		1	1				1		9	1	8	11%	89%	1	
文花	17	13	7		11	8	1	10	7			74	48	26	65%	35%	4	
桜堤	13	3	6	2	7	1	23	27			2	84	63	21	75%	25%	3	
入合計	38	60	62	6	53	11	49	77	61	12	9	438	351	87	80%	20%	3.3	
隣接する通学区 域からの希望選 択	37	42	35	4	32	11	44	77	52	9	9	352						
隣接しない通学区 域からの希望選 択	1	18	27	2	21	0	5	0	9	3	0	86						
隣接校内選 択率	97%	70%	56%	67%	60%	100%	90%	100%	85%	75%	100%							
隣接校外選 択率	3%	30%	44%	33%	40%	0%	10%	0%	15%	25%	0%							

学校選択制度希望選択抽選結果（暦年）

平成25年度希望選択抽選結果

	申込人数	当選人数	補欠人数	補欠繰上順位
二葉小学校	21	0	21	8番まで
柳島小学校	23	0	22（辞退1）	全員繰上
両国小学校	56	24	32	13番まで
横川小学校	25	7	18	全員繰上
第三吾嬬小学校	33	10	23	全員繰上
第一寺島小学校	24	8	16	全員繰上
第二寺島小学校	47	2	43（辞退2）	18番まで
曳舟小学校	20	0	20	全員繰上
東吾嬬小学校	25	19	6	全員繰上
八広小学校	10	0	10	全員繰上
隅田小学校	16	0	16	12番まで
立花吾嬬の森小学校	14	0	13（辞退1）	全員繰上
本所中学校	107	36	69（辞退2）	全員繰上
両国中学校	261	20	240（辞退1）	108番まで
寺島中学校	111	61	48（辞退2）	40番まで
立花中学校	70	37	33	全員繰上

平成24年度希望選択抽選結果

	申込人数	当選人数	補欠人数	補欠繰上順位
緑小学校	20	0	19（辞退1）	繰上げなし
二葉小学校	41	6	35	6番まで
柳島小学校	35	0	35	繰上げなし
横川小学校	32	7	25	3番まで
第二寺島小学校	52	13	39	15番まで
曳舟小学校	17	5	12	6番まで
押上小学校	33	8	24（辞退1）	6番まで
八広小学校	11	0	10（辞退1）	全員繰上
本所中学校	110	16	94	77番まで
両国中学校	315	20	295	103番まで

平成23年度希望選択抽選結果

	申込人数	当選人数	補欠人数	補欠繰上順位
二葉小学校	39	14	25	12番まで
横川小学校	33	22	11	10番まで
第二寺島小学校	66	30	36	5番まで
曳舟小学校	23	16	7	全員繰上
押上小学校	19	11	8	4番まで
隅田小学校	21	8	13	11番まで
墨田中学校	66	57	9	4番まで
本所中学校	111	43	68	44番まで
両国中学校	361	10	351	76番まで

平成22年度希望選択抽選結果

	申込人数	当選人数	補欠人数	補欠繰上順位
柳島小学校	38	24	14	4番まで
菊川小学校	24	8	15(辞退1)	全員繰上
第二寺島小学校	38	29	9	全員繰上
押上小学校	30	12	18	全員繰上
隅田小学校	18	6	12	9番まで
本所中学校	139	56	83	22番まで
両国中学校	257	27	229(辞退1)	120番まで

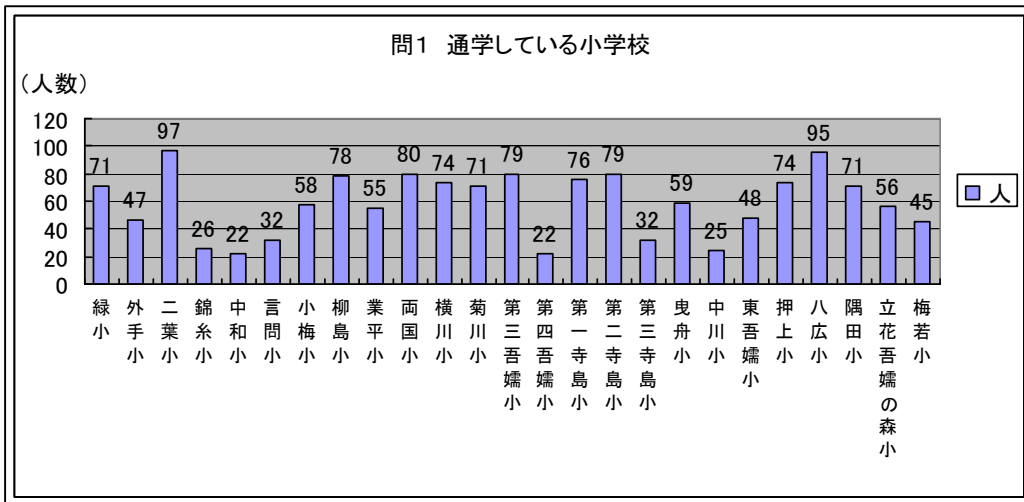
平成21年度希望選択抽選結果

	申込人数	当選人数	補欠人数	補欠繰上順位
二葉小学校	32	22	10	7番まで
第二寺島小学校	42	12	29(辞退1)	9番まで
押上小学校	22	15	7	繰上げなし
立花吾嬬の森小	22	8	14	繰上げなし
本所中学校	141	57	83(辞退1)	39番まで
両国中学校	290	40	248(辞退2)	110番まで
立花中学校	62	58	4	1番まで

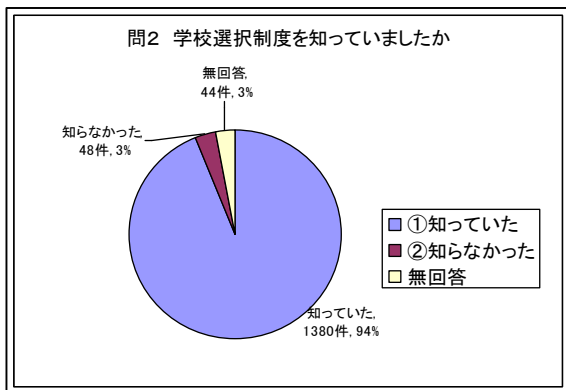
平成20年度希望選択抽選結果

	申込人数	当選人数	補欠人数	補欠繰上順位
二葉小学校	26	10	14(辞退2)	全員繰上げ
柳島小学校	21	16	4(辞退1)	全員繰上げ
両国小学校	57	39	17(辞退1)	12番まで
横川小学校	31	25	6	全員繰上げ
菊川小学校	16	5	10(辞退1)	全員繰上げ
第二寺島小学校	30	22	8	全員繰上げ
曳舟小学校	29	18	11	全員繰上げ
東吾嬬小学校	30	16	14	2番まで
押上小学校	26	10	15(辞退1)	9番まで
本所中学校	128	54	74	71番まで
両国中学校	269	34	235	169番まで

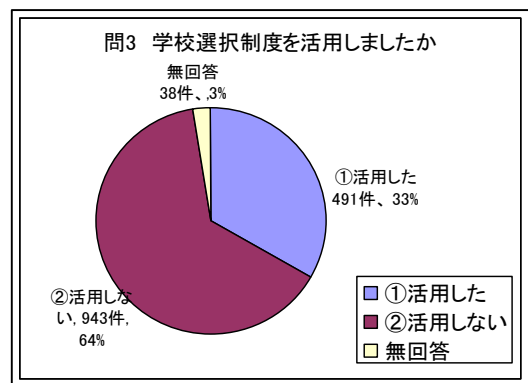
問1 お子様の通学している小学校はどこですか。



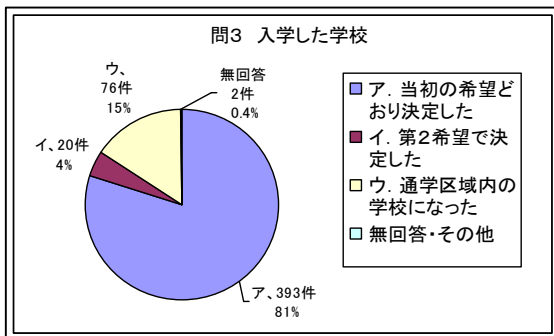
問2 あなたは、学校選択制度を知っていましたか。



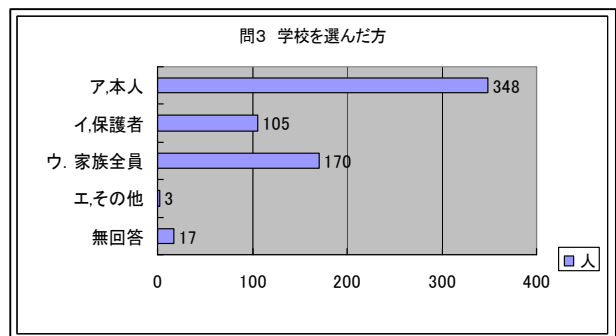
問3 学校選択制度を活用しましたか。



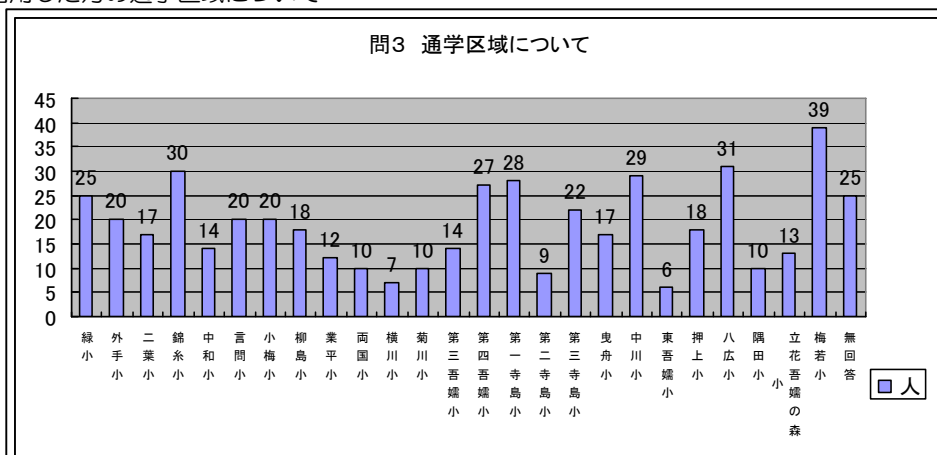
※ 活用した方(491人)のうち入学した学校について



※ 活用した方(491人)のうち学校を選んだ方について



※ 活用した方の通学区域について



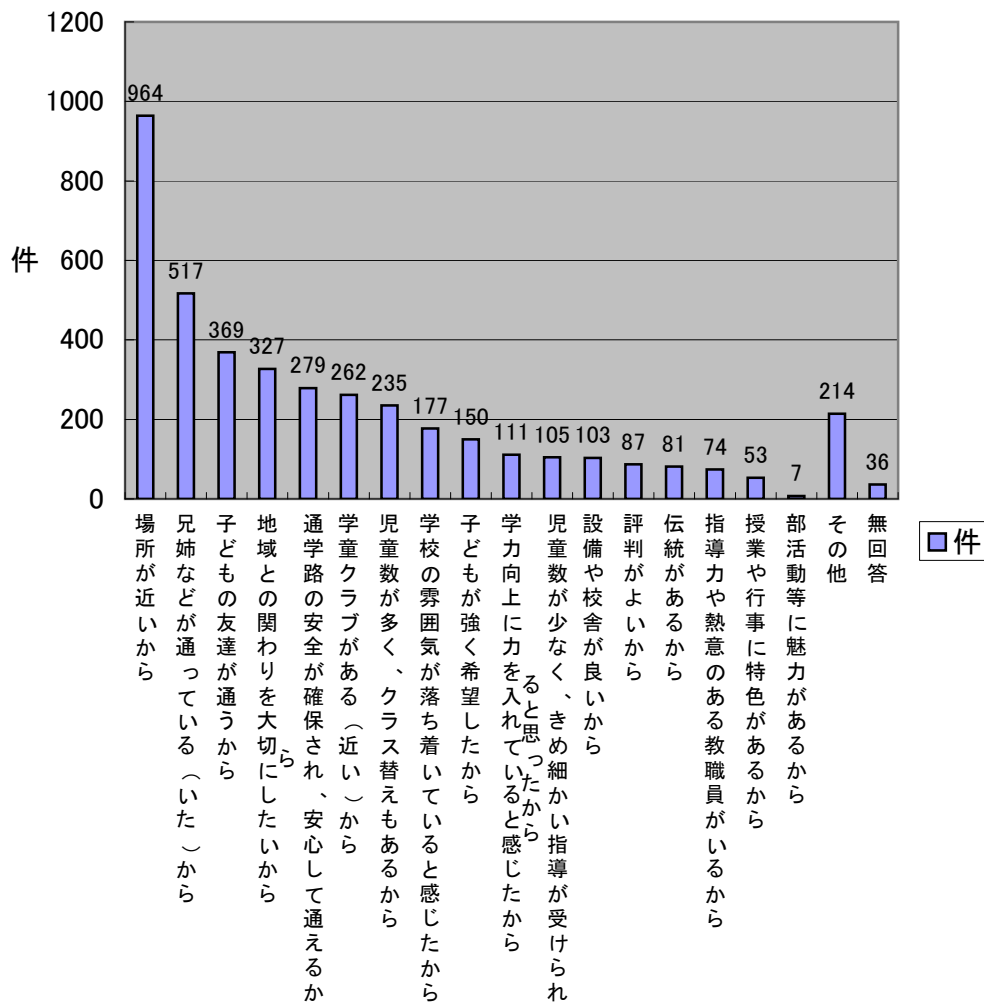
〔別紙5〕

問4 現在通っている学校に決めた理由は何ですか。（複数回答可）

	件	%
場所が近いから	964	65.5
兄弟などが通っている（いた）から	517	35.1
子どもの友達が通うから	369	25.1
地域との関わりを大切にしたいから	327	22.2
通学路の安全が確保され、安心して通えるから	279	19.0
学童クラブがある（近い）から	262	17.8
児童数が多く、クラス替えもあるから	235	16.0
学校の雰囲気落ち着いていると感じたから	177	12.0
子どもが強く希望したから	150	10.2
学力向上に力を入れていると感じたから	111	7.5
児童数が少なく、きめ細かい指導が受けられると思ったから	105	7.1
設備や校舎が良いから	103	7.0
評判がよいから	87	5.9
伝統があるから	81	5.5
指導力や熱意のある教職員がいるから	74	5.0
授業や行事に特色があるから	53	3.6
部活動等に魅力があるから	7	0.5
その他	214	14.5
無回答	36	2.4
合計	4151	

※割合は、回答者1472人に対するものであり、複数回答のため、合計は100%にならない

現在通っている学校に決めた理由（複数回答可）



〔別紙5〕

問5 学校を選ぶ際にどの情報が役に立ちましたか。（複数回答）

	件	%
友人・知人からの話を聞いて	613	41.6
学校公開によって授業や行事を参観して	591	40.1
兄弟が通っている（いた）ので、その話や様子から	504	34.2
学校説明会に参加して	489	33.2
学校案内（教育委員会から郵送）を見て	160	10.9
複数校の学校公開等に参加し比較して	120	8.2
学校のホームページを見て	71	4.8
学校だよりを見て	48	3.3
学校行事に参加して	81	5.5
その他（役立つ情報）	33	2.2
上記の選択肢以外の情報	22	1.5
無回答	121	8.2
合計	2,853	

「複数校の学校公開等に参加して」の参加学校数

1校……6名
2校……37名
3校……23名
4校……12名
5校……6名
8校……1名

※割合は、回答者1,472人に対するものであり、複数回答のため、合計は100%にならない

問6 墨田区の「学校選択制度」について、どのようにお考えですか。（複数回答）

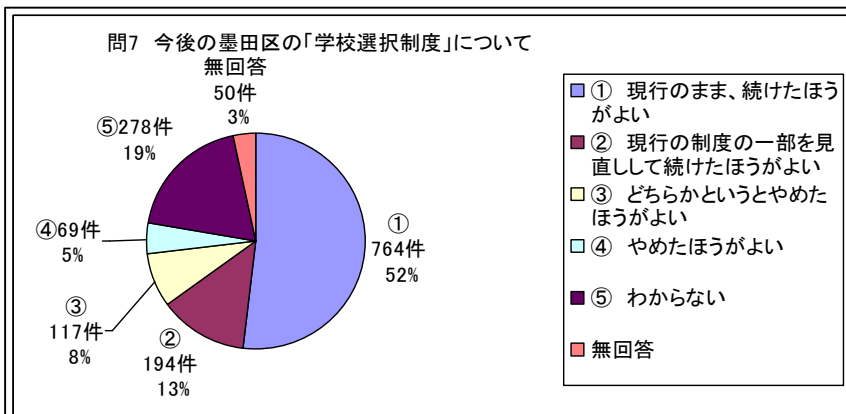
	件	%
子どもの個性や学校の特色によって、学校を選択できることはよい	943	64.1
学校間の児童生徒数の格差が広がる	476	32.3
通学時の安全確保や、災害時の対応に不安がある	366	24.9
地域とのつながりが希薄になる	256	17.4
住んでいる地域の行事に参加しにくい	248	16.8
区内のさまざまな地域の友人ができる	159	10.8
学習意欲を高めることができる	128	8.7
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動できる	122	8.3
特に意見はない	120	8.2
その他	62	4.2
無回答	49	3.3
合計	2,929	

※割合は、回答者1,472人に対するものであり、複数回答のため、合計は100%にならない

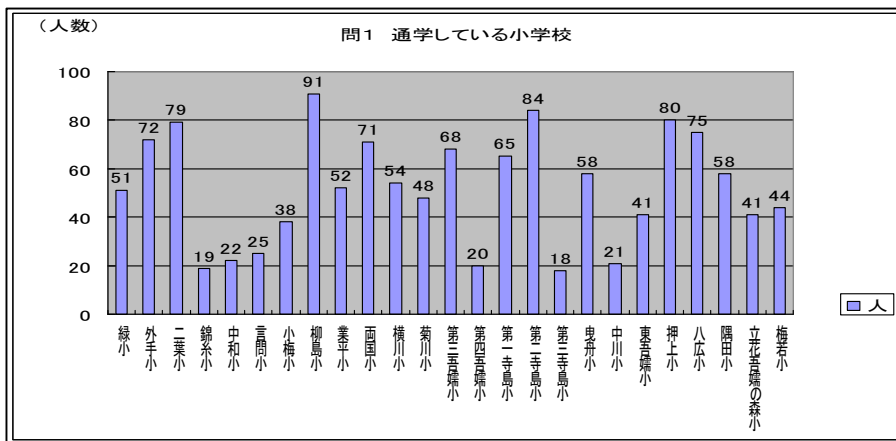
問7 今後の墨田区の「学校選択制度」についてお考えを伺います。

	件	%
① 現行のまま、続けたほうがよい	764	51.9
② 現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい	194	13.2
③ どちらかというをやめたほうがよい	117	7.9
④ やめたほうがよい	69	4.7
⑤ わからない	278	18.9
無回答	50	3.4
合計	1,472	100.0

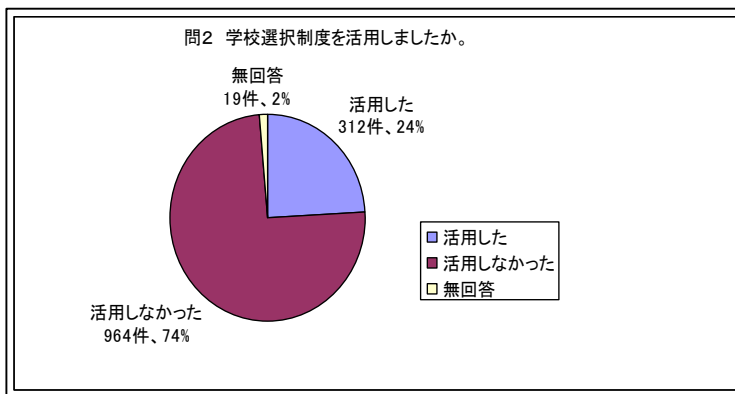
1位
3位
4位
5位
2位



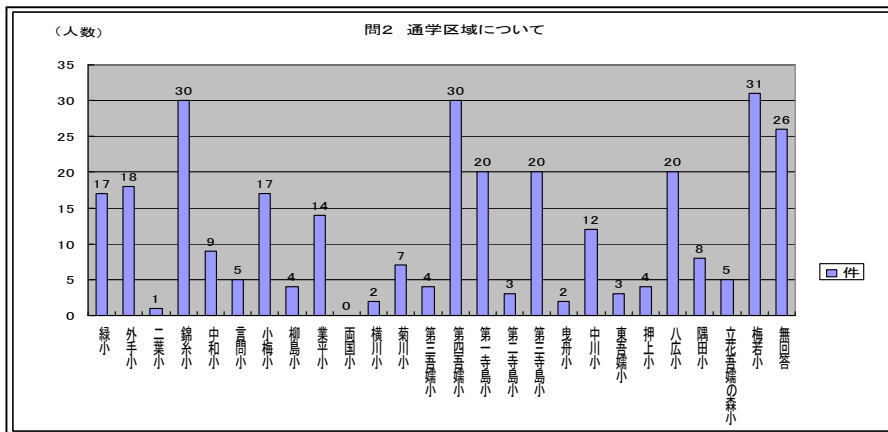
問1 お子様の通学している小学校はどこですか。



問2 学校選択制度を活用しましたか。



※ 活用した方（312人）の通学区域について



問3 問2で学区外の学校へ入学して、学校選択制度を活用してよかったこと。（複数回答可）

	件	%
区内のさまざまな地域の友人ができた	145	46.5
校舎や設備など、よりよい学習環境の中で学校生活を送っている	105	33.7
熱意ある教員に出会うことができた	95	30.4
通学路の安全が確保され、災害時でも対応でき安心して通える	90	28.8
学習意欲を高めることができた	88	28.2
PTA活動を通じてさまざまな地域の保護者と交流できる	65	20.8
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動している	14	4.5
その他	95	30.4
合計	697	

※割合は、回答者312人に対する者であり、複数回答のため、合計は100%にならない

〔別紙6〕

問4 問2で「活用しなかった」と答えた方に、学区の学校に通学してよかったこと（複数回答）

	件	%
近所の友達と一緒に楽しく通学している	798	82.8
通学路の安全が確保され、災害時でも対応でき安心して通える	543	56.3
地域の人々との関係がより良好になった	404	41.9
地域の知り合いが多いので、PTA活動にも参加しやすい	310	32.2
熱意ある教員に出会うことができた	182	18.9
校舎や設備など、よりよい学習環境の中で学校生活を送っている	161	16.7
学習意欲を高めることができた	54	5.6
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動している	31	3.2
その他	103	10.7
合計	2,586	

※割合は、回答者964人に対する者であり、複数回答のため、合計は100%にならない

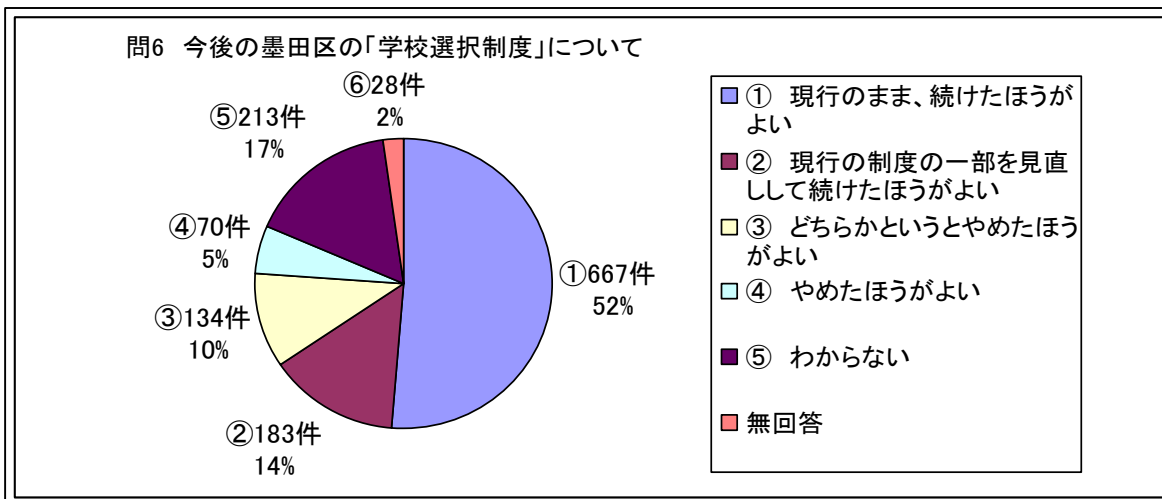
問5 墨田区の「学校選択制度」について、どのようにお考えですか。（複数回答可）

	件	%
子どもの個性や学校の特色によって、学校を選択できることはよい	865	66.8
学校間の児童生徒数の格差が広がる	474	36.6
通学時の安全確保や、災害時の対応に不安がある	412	31.8
住んでいる地域の行事に参加しにくい	318	24.6
地域とのつながりが希薄になる	295	22.8
区内のさまざまな地域の友人ができる	261	20.2
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動できる	183	14.1
学習意欲を高めることができる	175	13.5
特に意見はない	80	6.2
その他	75	5.8
合計	3,138	

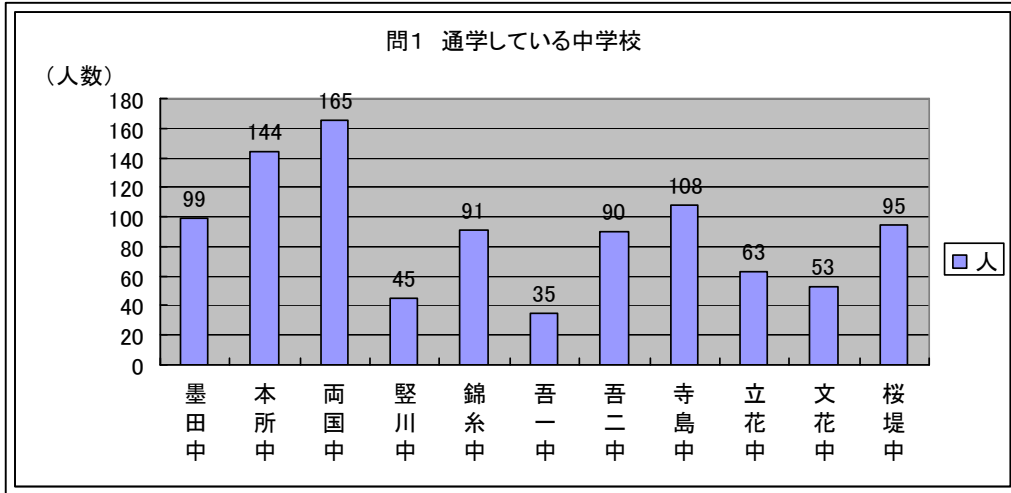
※割合は、回答者1,295人に対するものであり、複数回答のため、合計は100%にならない

問6 今後の墨田区の「学校選択制度」についてお考えを伺います。

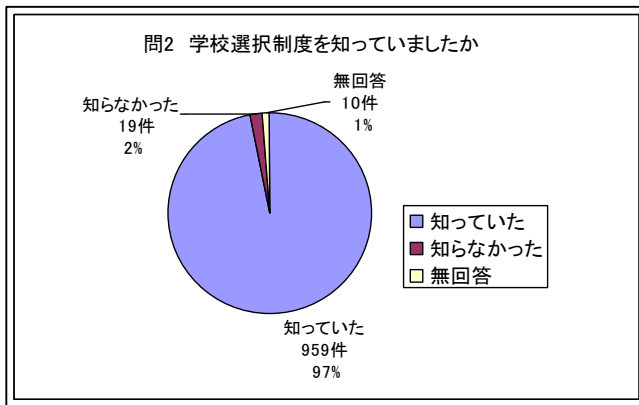
	件	%	
① 現行のまま、続けたほうがよい	667	51.5	1位
② 現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい	183	14.1	3位
③ どちらかというをやめたほうがよい	134	10.3	4位
④ やめたほうがよい	70	5.4	5位
⑤ わからない	213	16.5	2位
無回答	28	2.2	
合計	1,295	100.0	



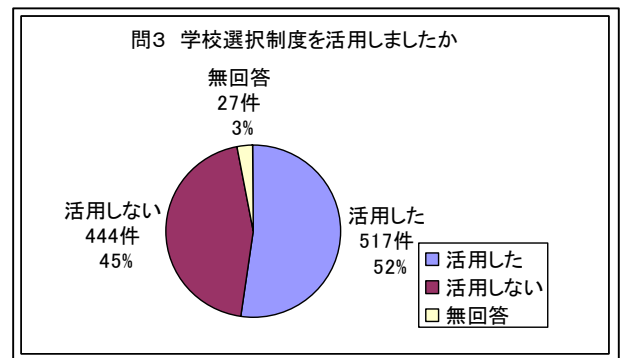
問1 お子様の通学している中学校はどこですか。



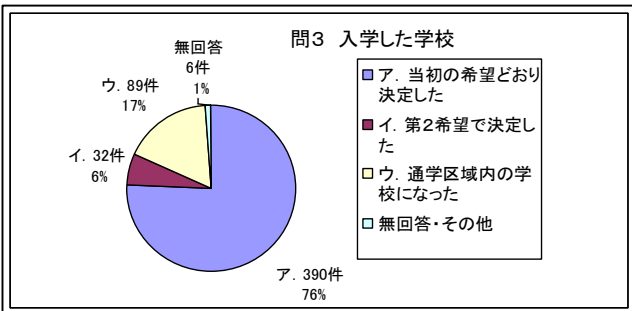
問2 あなたは、学校選択制度を知っていましたか。



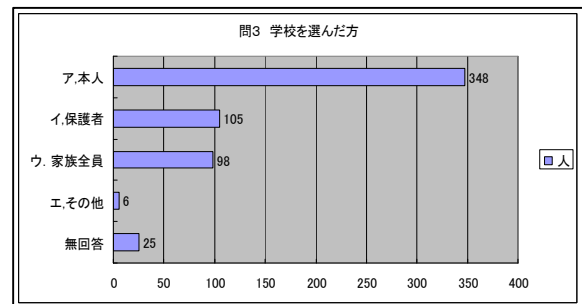
問3 学校選択制度を活用しましたか。



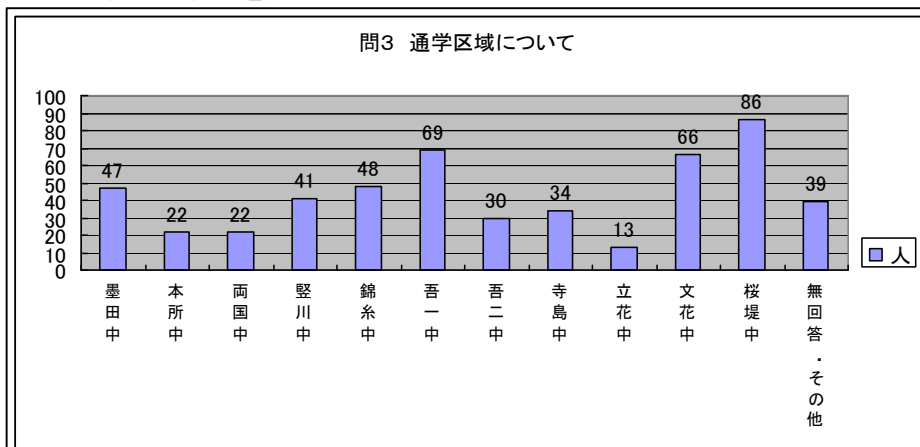
※ 活用した方（517人）のうち入学した学校について



※ 活用した方（517人）のうち学校を選んだ方について



※ 活用した方（517人）の通学区域について



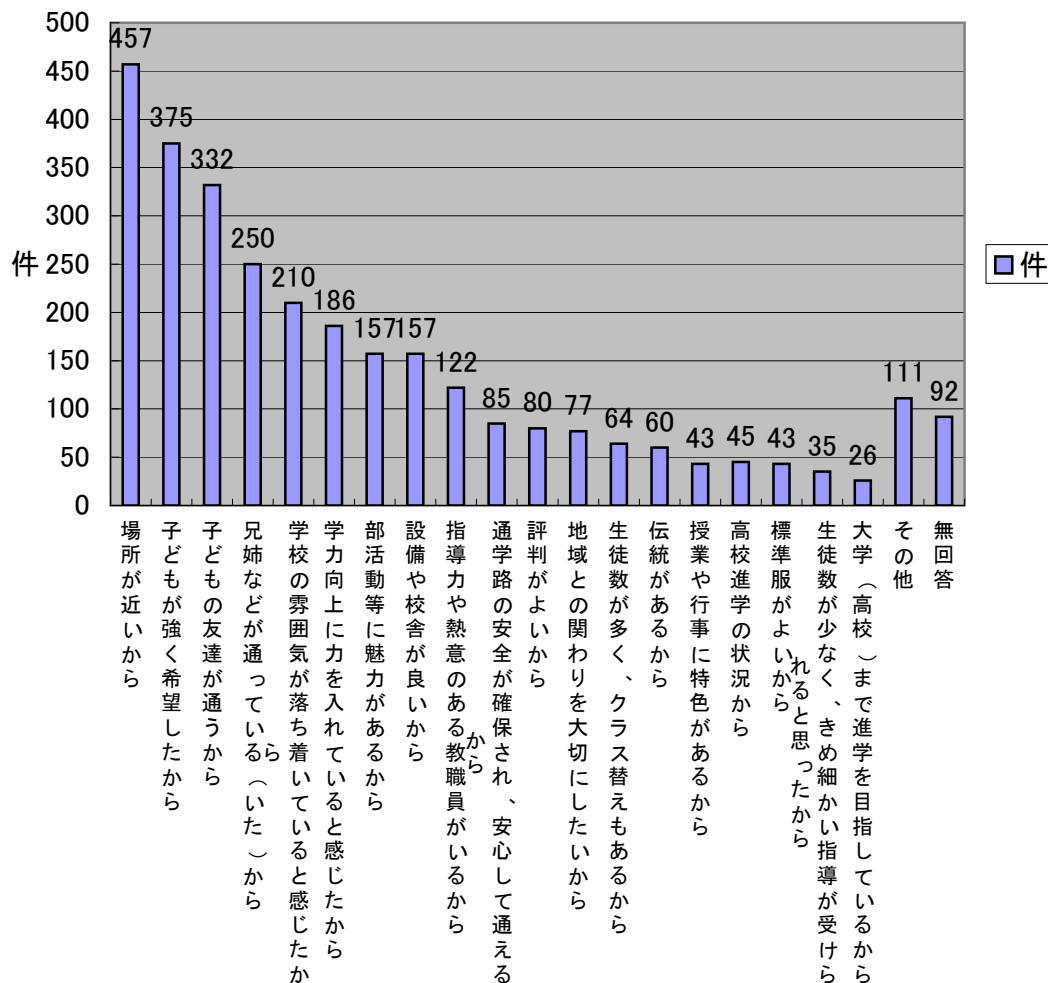
〔別紙7〕

問4 現在通っている学校に決めた理由は何ですか。(複数回答)

	件	%
場所が近いから	457	46.3
子どもが強く希望したから	375	38.0
子どもの友達が通うから	332	33.6
兄弟などが通っている(いた)から	250	25.3
学校の雰囲気落ち着いていると感じたから	210	21.3
学力向上に力を入れていると感じたから	186	18.8
部活動等に魅力があるから	157	15.9
設備や校舎が良いから	157	15.9
指導力や熱意のある教職員がいるから	122	12.3
通学路の安全が確保され、安心して通えるから	85	8.6
評判がよいから	80	8.1
地域との関わりを大切にしたいから	77	7.8
生徒数が多く、クラス替えもあるから	64	6.5
伝統があるから	60	6.1
授業や行事に特色があるから	43	4.4
高校進学状況から	45	4.6
標準服がよいから	43	4.4
生徒数が少なく、きめ細かい指導が受けられると思ったから	35	3.5
大学(高校)まで進学を目指しているから	26	2.6
その他	111	11.2
無回答	92	9.3
合計	3,007	

※割合は、回答者988人に対するものであり、複数回答のため、合計は100%にならない

問4 現在通っている学校に決めた理由



〔別紙7〕

問5 学校を選ぶ際にどの情報が役に立ちましたか。（複数回答）

	件	%
学校説明会に参加して	403	40.8
友人・知人からの話を聞いて	359	36.3
兄弟が通っている（いた）ので、その話や様子から	260	26.3
学校公開によって授業や行事を参観して	246	24.9
学校案内（教育委員会から郵送）を見て	123	12.4
体験行事（部活動体験・授業体験等）に参加して	79	8.0
学校だよりを見て	64	6.5
複数校の学校公開等に参加し比較して	60	6.1
学校のホームページを見て	48	4.9
その他（役立つ情報）	23	2.3
上記の選択肢以外の情報	21	2.1
無回答	84	8.5
合計	1,770	

「複数校の学校公開等に参加して」の参加学校数

1校……6名
2校……17名
3校……18名
4校……8名
5校……3名

※割合は、回答者988人に対するものであり、複数回答のため、合計は100%にならない

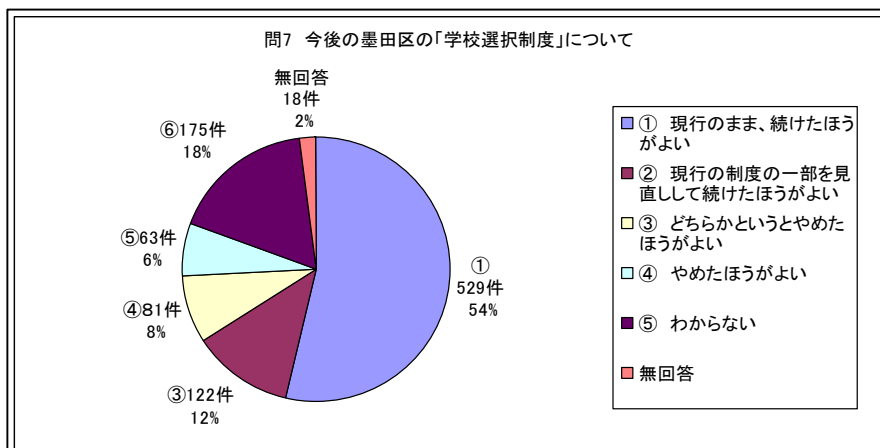
問6 墨田区の「学校選択制度」について、どのようにお考えですか。（複数回答）

	件	%
子どもの個性や学校の特色によって、学校を選択できることはよい	637	64.5
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動できる	326	33.0
学校間の児童生徒数の格差が広がる	283	28.6
区内のさまざまな地域の友人ができる	185	18.7
学習意欲を高めることができる	167	16.9
通学時の安全確保や、災害時の対応に不安がある	132	13.4
地域とのつながりが希薄になる	114	11.5
特に意見はない	65	6.6
住んでいる地域の行事に参加しにくい	62	6.3
その他	35	3.5
無回答	31	3.1
合計	2,037	

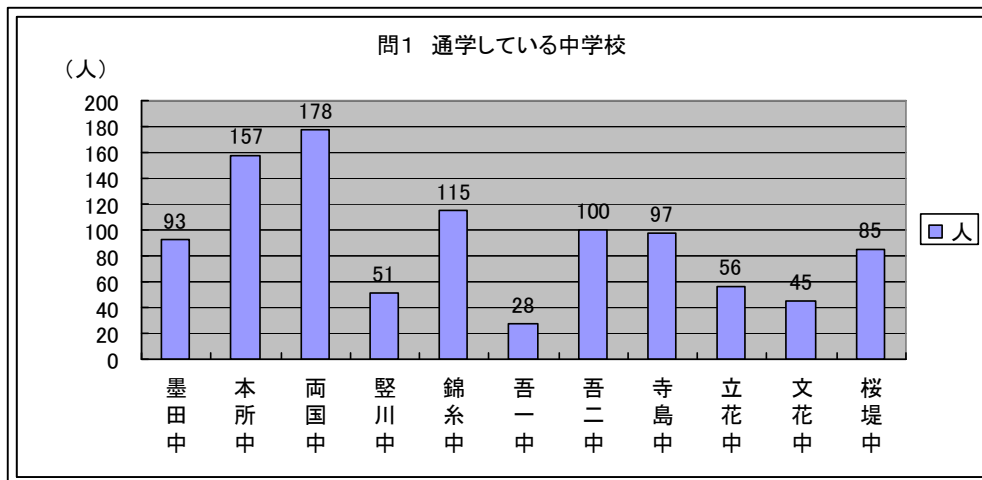
※割合は、回答者988人に対するものであり、複数回答のため、合計は100%にならない

問7 今後の墨田区の「学校選択制度」についてお考えを伺います。（複数回答）

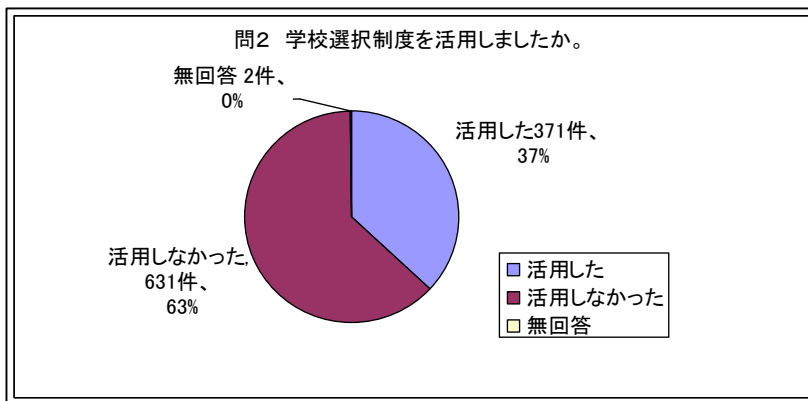
	件	%	
① 現行のまま、続けたほうがよい	529	53.5	1位
② 現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい	122	12.4	3位
③ どちらかというをやめたほうがよい	81	8.2	4位
④ やめたほうがよい	63	6.4	5位
⑤ わからない	175	17.7	2位
無回答	18	1.8	
合計	988	100.0	



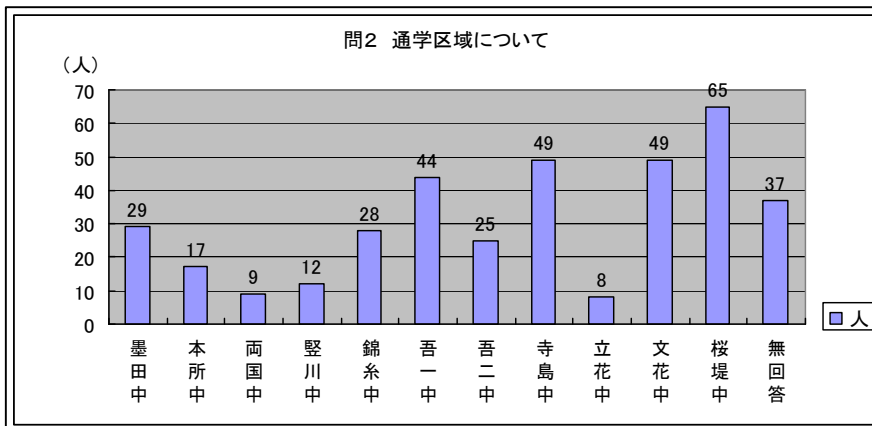
問1 お子様の通学している中学校はどこですか。



問2 学校選択制度を活用しましたか。



※ 活用した方（371人）の通学区域について



問3 問2で「活用した」方に、学校選択制度を活用してよかったこと（複数回答可）

	件	%
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動している	201	54.2
区内のさまざまな地域の友人ができた	185	49.9
学習意欲を高めることができた	112	30.2
校舎や設備など、よりよい学習環境の中で学校生活を送っている	111	29.9
熱意ある教員に出会うことができた	104	28.0
通学路の安全が確保され、災害時も対応でき安心して通える	40	10.8
PTA活動を通じてさまざまな地域の保護者と交流できる	34	9.2
その他	69	18.6
合計	856	

※割合は、回答者371人に対する者であり、複数回答のため、合計は100%にならない

〔別紙8〕

問4 問2で「活用しなかった」と答えた方に、学区の学校に通学してよかったこと（複数回答）

	件	%
近所の友達と一緒に楽しく通学している	415	65.8
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動している	279	44.2
通学路の安全が確保され、災害時でも対応でき安心して通える	256	40.6
校舎や設備など、よりよい学習環境の中で学校生活を送っている	163	25.8
地域の知り合いが多いので、PTA活動にも参加しやすい	154	24.4
熱意ある教員に出会うことができた	111	17.6
学習意欲を高めることができた	72	11.4
地域の人々との関係がより良好になった	68	10.8
その他	47	7.4
合計	1,565	

※割合は、回答者631人に対する者であり、複数回答のため、合計は100%にならない

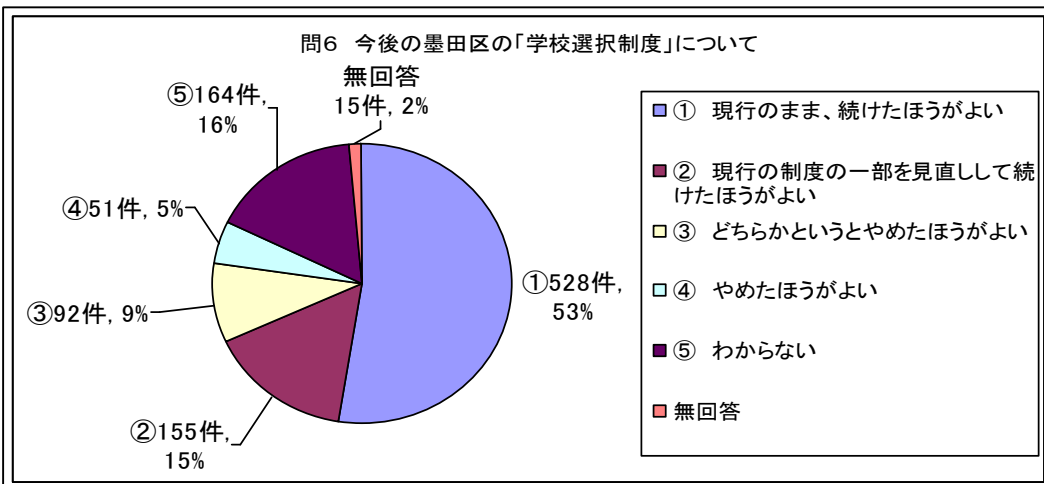
問5 墨田区の「学校選択制度」について、どのようにお考えですか。（複数回答可）

	件	%
子どもの個性や学校の特色によって、学校を選択できることはよい	674	67.1
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動できる	377	37.5
学校間の児童生徒数の格差が広がる	362	36.1
区内のさまざまな地域の友人ができる	269	26.8
通学時の安全確保や、災害時の対応に不安がある	227	22.6
学習意欲を高めることができる	197	19.6
地域とのつながりが希薄になる	174	17.3
住んでいる地域の行事に参加しにくい	102	10.2
特に意見はない	67	6.7
その他	46	4.6
合計	2,495	

※割合は、回答者1,004人に対する者であり、複数回答のため、合計は100%にならない

問6 今後の墨田区の「学校選択制度」についてお考えを伺います。

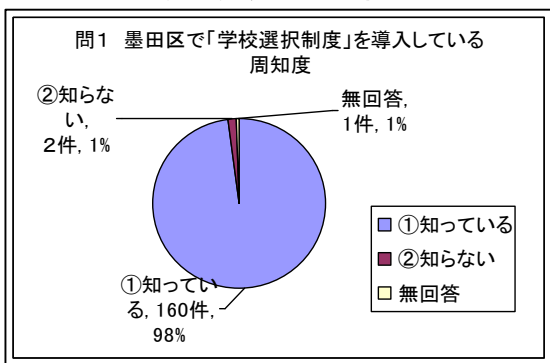
	件	%	順位
① 現行のまま、続けたほうがよい	528	52.5	1位
② 現行の制度の一部を見直しして続けたほうがよい	155	15.4	3位
③ どちらかというをやめたほうがよい	92	9.2	4位
④ やめたほうがよい	51	5.1	5位
⑤ わからない	164	16.3	2位
無回答	15	1.5	
合計	1,005	100.0	



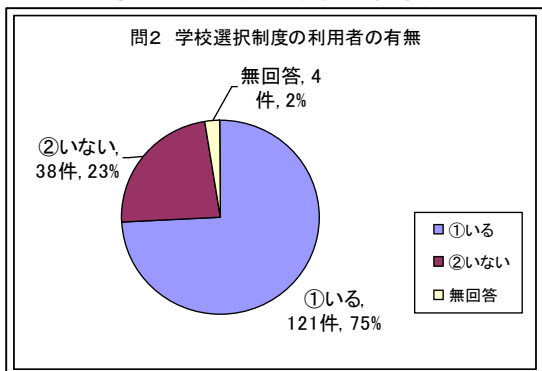
〔別紙9〕 平成25年度学校選択制度に関するアンケート集計結果 地域関係者

※ 対象者：207人（町会・自治会長 167人、青少年委員 28人、青少年育成委員長 12人）
 回答者：163人 回収率：78.7%

問1 墨田区で「学校選択制度」を導入していることをご存知ですか。



問2 あなたの身近な方で、「学校選択制度」を活用した方はいらっしゃいますか。



問3 「学校選択制度」を活用した保護者の意見（複数回答可）

	件	%
学校選択制度を活用したが、入学後、通学時の安全確保や災害時の対応に不安がある	43	35.5
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動している	42	34.7
校舎や設備など、よりよい学習環境の中で学校生活を送っている	34	28.1
学校選択制度を活用したが、入学後、当初考えていたイメージと違っていった	29	24.0
学習意欲を高めることができた	21	17.4
特に意見はない	19	15.7
区内のさまざまな地域の友人ができた	12	9.9
熱意ある教員に出会うことができた	9	7.4
PTA活動を通じてさまざまな地域の保護者と交流できる	8	6.6
その他	20	16.5
無回答	44	36.4
合計	281	

※割合は、質問2で学校選択制度利用者がいるとした121人にたいするものであり、複数回答のため、合計は100%にならない。

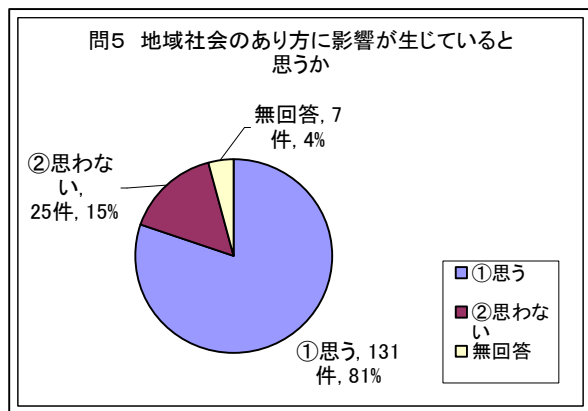
問4 「学校選択制度」についてどのように考えているか（複数回答可）

	件	%
地域とのつながりが希薄になる	128	78.5
住んでいる地域の行事に参加しにくい	122	74.8
学校間の児童生徒数の格差が広がる	88	54.0
通学時の安全確保や、災害時の対応に不安がある	87	53.4
子どもの個性や学校の特色によって、学校を選択できることはよい	63	38.7
希望の部活動やクラブに入り、意欲的に活動できる	39	23.9
学習意欲を高めることができる	25	15.3
区内のさまざまな地域の友人ができる	18	11.0
特に意見はない	3	1.8
その他	17	10.4
無回答	4	2.5
合計	594	

※割合は、回答者163人に対する者であり、複数回答のため、合計は100%にならない

〔別紙9〕

問5 「学校選択制度」の導入によって、地域社会のあり方に影響が生じていると思うか



問6 地域社会のあり方に影響が生じると「思う」と回答した方に、どのような影響が生じるか（複数回答可）

	件	%
「地域の学校」としての関係が希薄になる傾向がある	93	71.0
同じ地域の児童生徒間の連携が取りにくい	85	64.9
学区外の保護者の協力が得にくい	79	60.3
児童生徒など学校間の格差が広がった	77	58.8
通学路の安全確保、生徒の問題行動の広域化で対処が困難になる	70	53.4
実態よりうわさが先行する	48	36.6
保護者に学校選択の趣旨が十分浸透していない	31	23.7
その他	6	4.6
無回答	0	0.0
合計	489	

※割合は、質問5で地域社会のあり方に影響が生じると「思う」と回答した131人に対するものであり、複数回答のため、合計は100%にならない。

問7 今後の墨田区の「学校選択制度」についての考え

	件	%	順位
① 現行のまま、続けたほうがよい	28	17.2	4位
② 現行の制度の一部を見直して続けたほうがよい	33	20.3	3位
③ どちらかというをやめたほうがよい	45	27.6	1位
④ やめたほうがよい	40	24.5	2位
⑤ わからない	10	6.1	5位
無回答	7	4.3	
合計	163	100.0	

